

光市環境基本計画策定に関する 市民アンケート調査結果報告書

平成19年9月

光 市

目 次

1	アンケート調査の概要	1
2	基礎項目	3
3	光市の環境について感じる事	6
4	光市の環境について特に重要だと感じる事	18
5	個人や家庭で取り組んでいる事	21
6	環境に関する地域・団体での活動	30
7	市の環境施策について	36
8	自然敬愛都市宣言の内容について	39
9	光市の環境で、後世に残したいもの	40
10	自由意見	41

調査概要

1 調査対象

光市に住む 18 歳以上の市民から 1,000 人を抽出

2 調査方法

郵送配布・郵送回収

3 調査期間

平成 19 年 7 月 2 日～平成 19 年 7 月 16 日

4 配布回収状況

配布数	1,000
有効配布数 (A)	996
回収数 (B)	430
回収率 (B/A)	43.17%

5 調査項目

- (1) 回答者の属性
- (2) 光市の環境について感じる事
- (3) 光市の環境について特に重要だと感じる事
- (4) 個人や家庭で取り組んでいる事
- (5) 環境に関する地域・団体での活動
- (6) 市の環境施策について
- (7) 自然敬愛都市宣言の内容について
- (8) 光市の環境で、後世に残したいもの
- (9) 自由意見

6 属性別の集計について

(1) 地域

光市総合計画で分類されている東部地区（旧大和地域）、西部地区（浅江、島田）、南部地区（室積、光井）、北部地区（中・上島田、三井、小周防）の4地区別に分けて集計

(2) 年齢別

10歳代の回答数が少ないので、20歳代と合せて集計

設問1 基礎項目

今回のアンケートは、光市の実人口比とほぼ同じとなるように1,000人を抽出して送付しました。有効送付数は996、回答数は430、回答率43.17%となりました。

男女比では、男性4に対し女性が6、年齢別では、60代以上の高齢層が全体の5割近くを占めています。職業別では、高齢層の回答が多いため、無職の割合が高く、次いで会社員・公務員の順となっています。また、地区別では浅江が一番多く、室積、光井の順になっています。世帯人数は2人世帯が、住居形態では一戸建が一番多くなっています。

男女比、年齢層、地区別とも回答割合は、ほぼ光市の人口構成と同じような結果となっています。

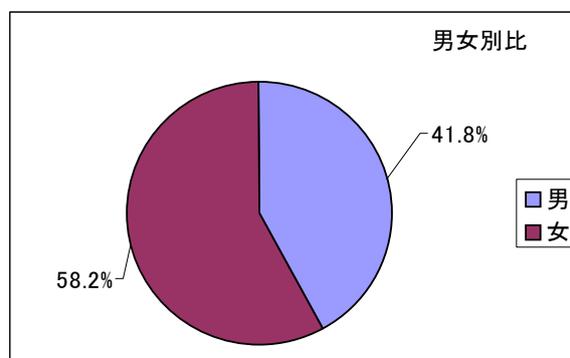
	東部地域	西部地域	南部地域	北部地域	計
対象人口	6,827	15,676	14,832	8,624	45,959
対象人口に対する比率	14.9%	34.1%	32.3%	18.8%	100%
発送数(A)	148	341	323	188	1,000
回答数(B)	56	150	145	78	429(C)
回答率(B/C)	13.0%	35.0%	33.8%	18.2%	100%
回答率(B/A)	37.8%	44.0%	44.9%	41.5%	

※回答数は、居住地域が無回答の1人を除く

(男女別回答数)

性別	回答数	構成比
男	179	41.8%
女	249	58.2%
計	428	100.0%

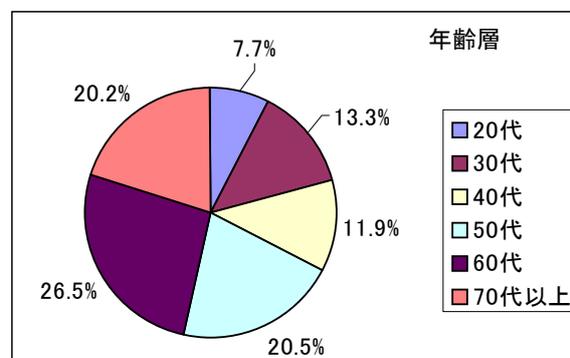
※無回答の2人を除く



(年代別回答数)

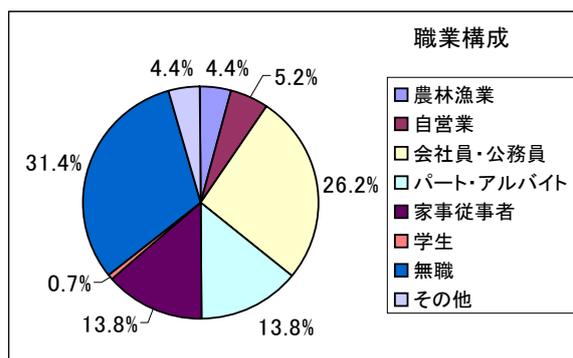
年齢	回答数	構成比
20代	33	7.7%
30代	57	13.3%
40代	51	11.9%
50代	88	20.5%
60代	114	26.5%
70代以上	87	20.2%
計	430	100.0%

※20代には10代の4人を含む



(職業別回答数)

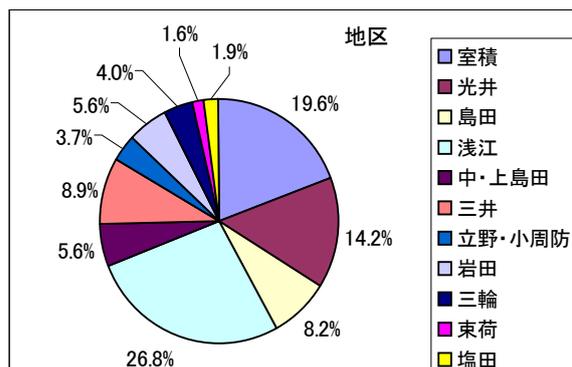
職業	回答数	構成比
農林漁業	19	4.4%
自営業	22	5.2%
会社員・公務員	112	26.2%
パート・アルバイト	59	13.8%
家事従事者	59	13.8%
学生	3	0.7%
無職	134	31.4%
その他	19	4.4%
計	427	100.0%



※無回答の3人を除く

(地区別回答数)

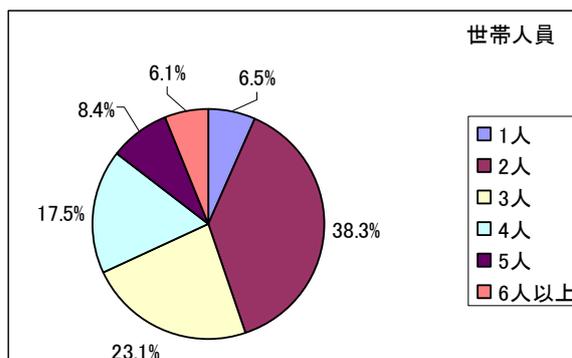
地区	回答数	構成比
室積	84	19.6%
光井	61	14.2%
島田	35	8.2%
浅江	115	26.8%
中・上島田	24	5.6%
三井	38	8.9%
立野・小周防	16	3.7%
岩田	24	5.6%
三輪	17	4.0%
束荷	7	1.6%
塩田	8	1.9%
計	429	100.0%



※無回答の1人を除く

(世帯人員別回答数)

世帯人員	回答数	構成比
1人	28	6.5%
2人	164	38.3%
3人	99	23.1%
4人	75	17.5%
5人	36	8.4%
6人以上	26	6.1%
計	428	100.0%

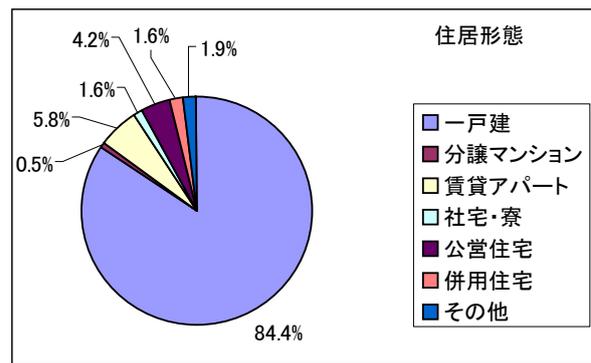


※無回答の2人を除く

(住居形態別回答数)

住居形態	回答数	構成比
一戸建	363	84.4%
分譲マンション	2	0.5%
賃貸アパート	25	5.8%
社宅・寮	7	1.6%
公営住宅	18	4.2%
併用住宅	7	1.6%
その他	8	1.9%
計	428	100.0%

※無回答の2人を除く

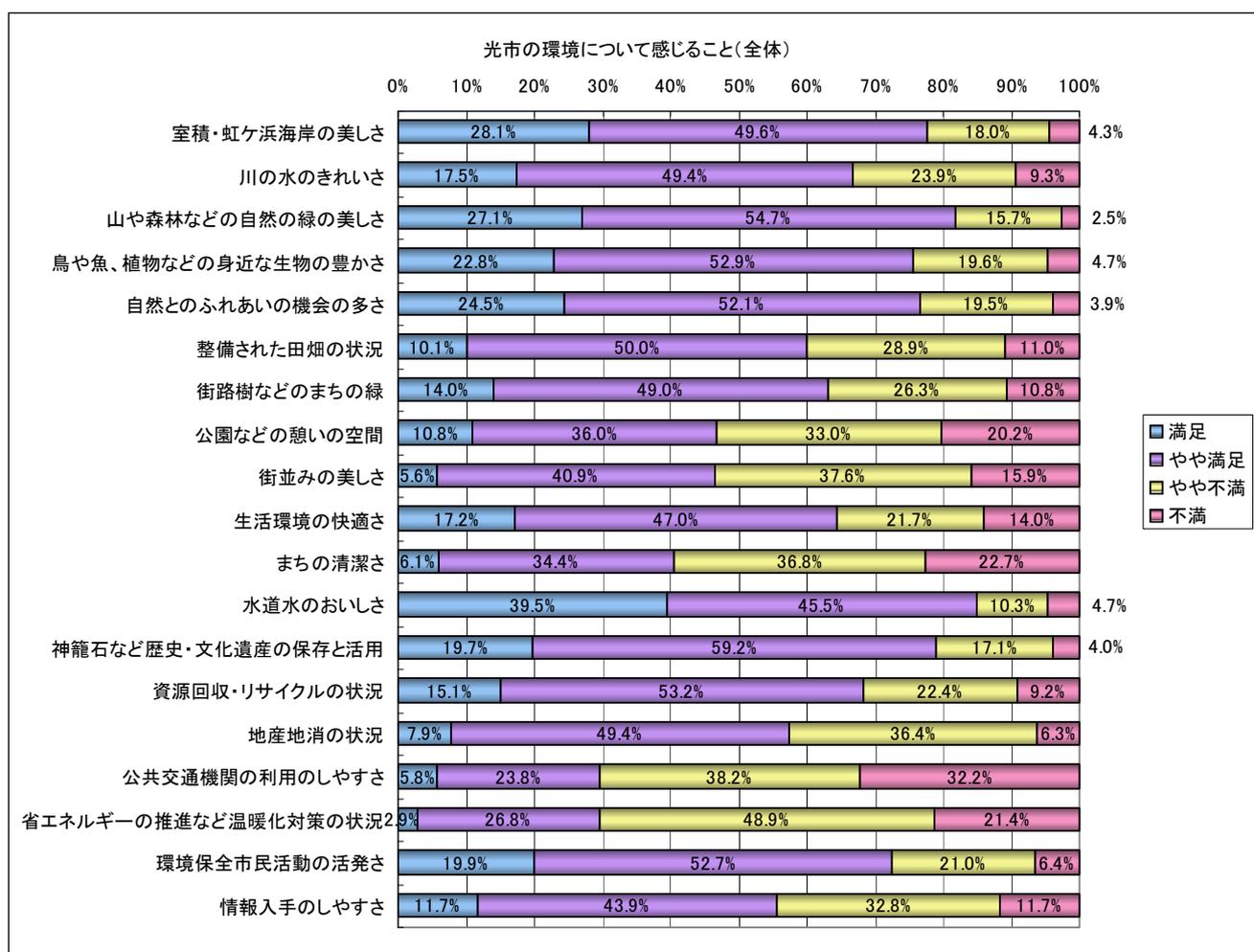


設問2 光市の環境についてどう感じていますか

光市の環境についての満足度を調べるため、19項目（その他を含めると、20項目）にわたり「満足」、「やや満足」、「やや不満」、「不満」、「分からない」に分けて回答してもらいました。

～全体～

全体では、19項目中、「山や森林などの自然の緑の美しさ」や「水道水のおいしさ」など14項目について「満足」と「やや満足」を合せた数値が50%を超えていましたが、「公園など憩いの空間」、「街並みの美しさ」、「まちの清潔さ」、「公共交通機関の利用のしやすさ」といった日常生活に密着した項目と、昨今、世界的に問題になっている「省エネルギーの推進など温暖化対策の状況」の項目については満足度が50%を下回っています。



～満足度～

満足度順位では、1位から順に「水道水のおいしさ」、「山や森林などの自然の緑の美しさ」、「室積・虹ヶ浜海岸の美しさ」が並び、自然環境について満足度が高いことが伺えます。また、長年にわたって行われている「クリーン光大作戦」に代表される「環境保全市民活動の活発さ」についても、高い満足度を示しています。

(満足度順位)

項目	回答数							平均値	満足度 順位	(分からないを除く)		
	満足	やや 満足	やや 不満	不満	分から ない	無回答	小計			総計	平均値	満足度 順位
室積・虹ヶ浜海岸の美しさ	111	196	71	17	23	12	418	430	0.75	3	0.79	3
川の水のきれいさ	68	192	93	36	30	11	419	430	0.39	8	0.42	9
山や森林などの自然の緑の 美しさ	107	216	62	10	20	15	415	430	0.84	2	0.88	2
鳥や魚、植物などの身近な生 物の豊かさ	87	202	75	18	36	12	418	430	0.63	5	0.69	6
自然とのふれあいの機会 の多さ	93	198	74	15	38	12	418	430	0.67	4	0.74	4
整備された田畑の状況	34	168	97	37	79	15	415	430	0.16	12	0.19	12
街路樹などのまちな緑	56	196	105	43	18	12	418	430	0.28	11	0.29	11
公園などの憩いの空間	43	143	131	80	21	12	418	430	-0.15	15	-0.16	15
街並みの美しさ	22	160	147	62	25	14	416	430	-0.16	16	-0.17	16
生活環境の快適さ	70	191	88	57	13	11	419	430	0.31	10	0.32	10
まちな清潔さ	25	141	151	93	8	12	418	430	-0.35	17	-0.36	17
水道水のおいしさ	150	173	39	18	41	9	421	430	0.95	1	1.05	1
神籠石など歴史・文化遺産の 保存と活用	59	177	51	12	117	14	416	430	0.53	6	0.74	4
資源回収・リサイクルの状況	56	197	83	34	48	12	418	430	0.38	9	0.43	8
地産地消の状況	25	156	115	20	100	14	416	430	0.12	13	0.16	13
公共交通機関の利用のしやす さ	22	91	146	123	36	12	418	430	-0.61	19	-0.67	19
省エネルギーの推進など温 暖化対策の状況	8	75	137	60	136	14	416	430	-0.40	18	-0.59	18
環境保全市民活動の活発さ	71	188	75	23	61	12	418	430	0.50	7	0.59	7
情報入手のしやすさ	41	154	115	41	66	13	417	430	0.09	14	0.11	14

平均値：満足を2点、やや満足を1点、やや不満を-1点、不満を-2点とし、合計点を回答数（小計）で除したもの

「例：室積・虹ヶ浜海岸の美しさ」の平均点

$$\frac{(111 \times 2) + (196 \times 1) + (71 \times -1) + (17 \times -2)}{430} = 0.75$$

満足度順位別

順位	平均値	項目
1	0.95	水道水のおいしさ
2	0.84	山や森林などの自然の緑の美しさ
3	0.75	室積・虹ヶ浜海岸の美しさ
4	0.67	自然とのふれあいの機会の多さ
5	0.63	鳥や魚、植物などの身近な生物の豊かさ
6	0.53	神籠石など歴史・文化遺産の保存と活用
7	0.50	環境保全市民活動の活発さ
8	0.39	川の水のきれいさ
9	0.38	資源回収・リサイクルの状況
10	0.31	生活環境の快適さ
11	0.28	街路樹などのまちの緑
12	0.16	整備された田畑の状況
13	0.12	地産地消の状況
14	0.09	情報入手のしやすさ
15	-0.15	公園などの憩いの空間
16	-0.16	街並みの美しさ
17	-0.35	まちの清潔さ
18	-0.40	省エネルギーの推進など温暖化対策の状況
19	-0.61	公共交通機関の利用のしやすさ

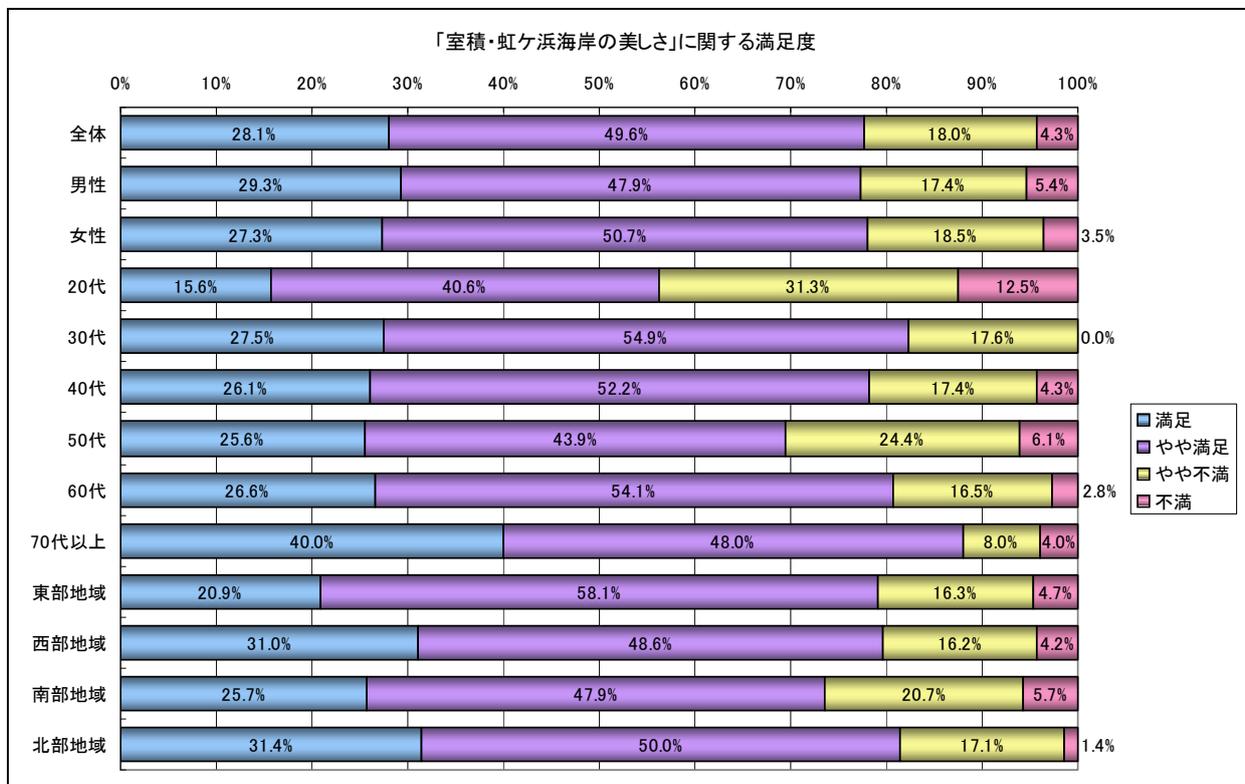
(「分からない」を除く)

順位	平均値	項目
1	1.05	水道水のおいしさ
2	0.88	山や森林などの自然の緑の美しさ
3	0.79	室積・虹ヶ浜海岸の美しさ
4	0.74	自然とのふれあいの機会の多さ
4	0.74	神籠石など歴史・文化遺産の保存と活用
6	0.69	鳥や魚、植物などの身近な生物の豊かさ
7	0.59	環境保全市民活動の活発さ
8	0.43	資源回収・リサイクルの状況
9	0.42	川の水のきれいさ
10	0.32	生活環境の快適さ
11	0.29	街路樹などのまちの緑
12	0.19	整備された田畑の状況
13	0.16	地産地消の状況
14	0.11	情報入手のしやすさ
15	-0.16	公園などの憩いの空間
16	-0.17	街並みの美しさ
17	-0.36	まちの清潔さ
18	-0.59	省エネルギーの推進など温暖化対策の状況
19	-0.67	公共交通機関の利用のしやすさ

～項目別満足度一覧～

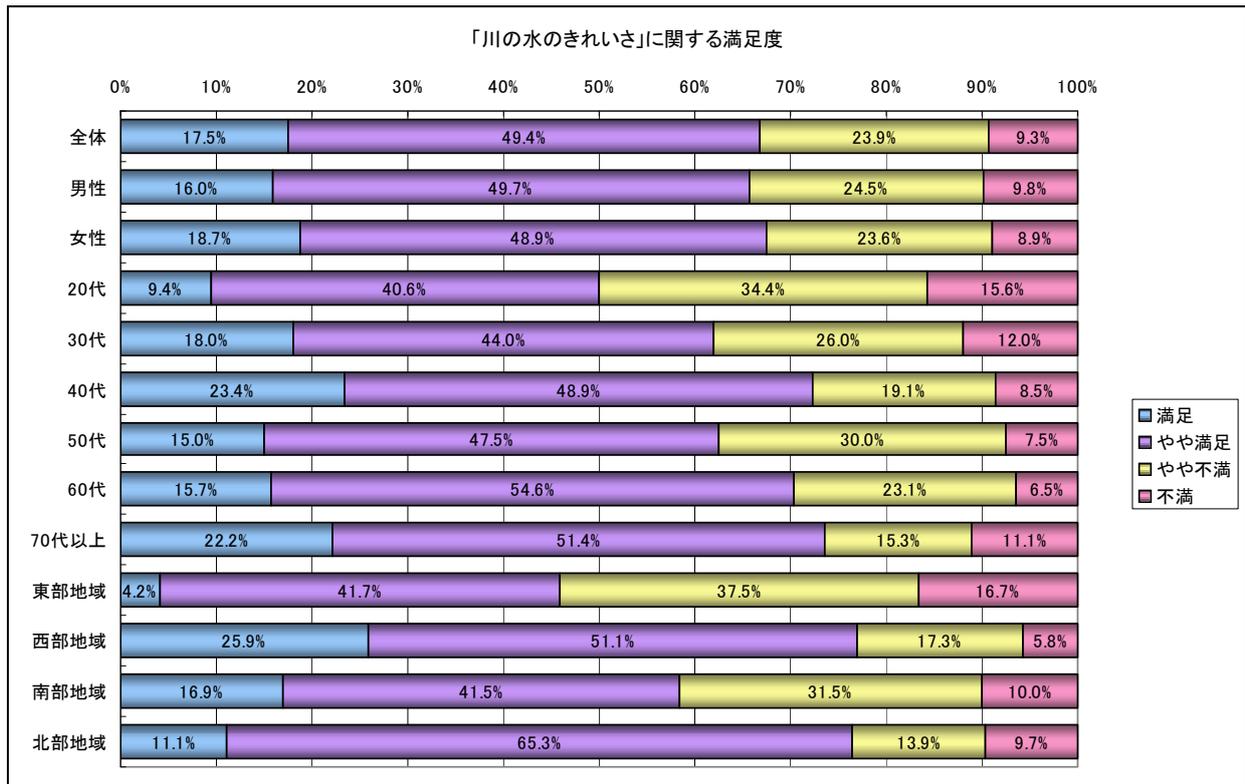
○室積・虹ヶ浜海岸の美しさに関する満足度

性別、年代、地域ともに満足度はほぼ全体と同じく高い傾向にありますが、20代、50代の満足度が全体に比べて満足度が低くなっています。



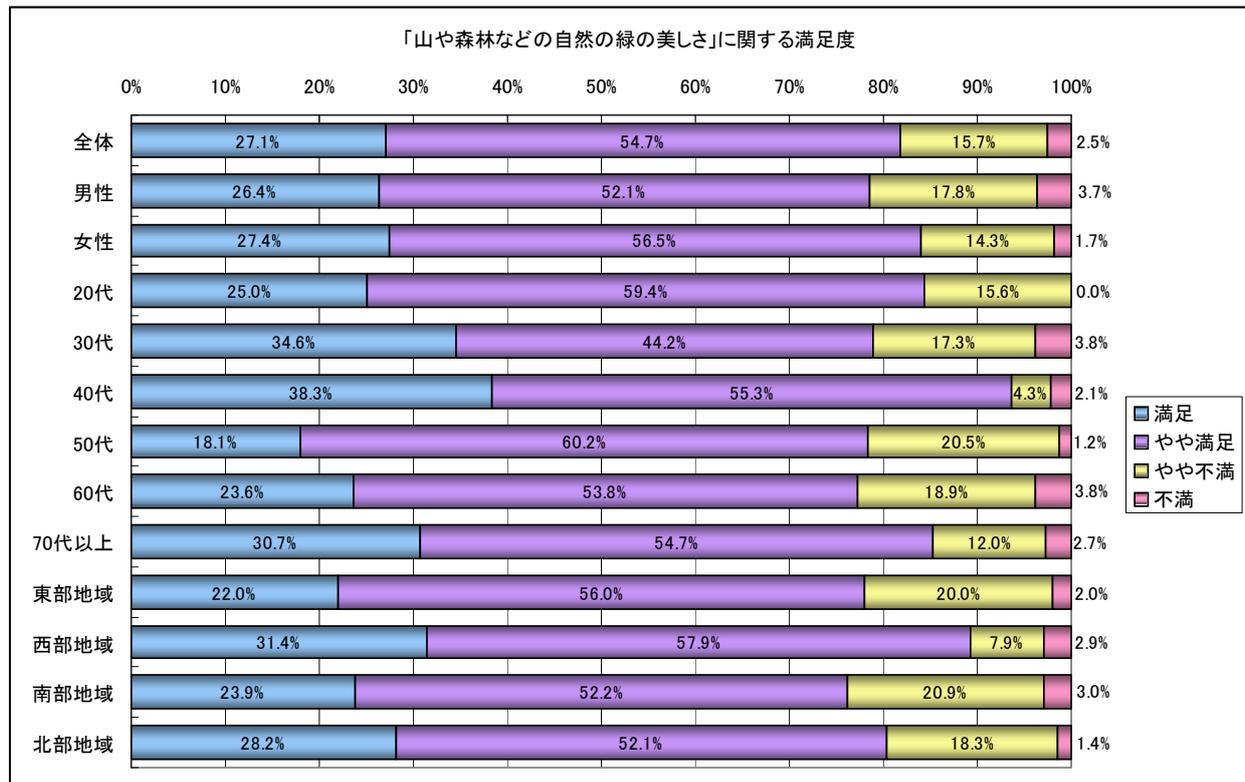
○川の水のきれいさに関する満足度

島田川流域の西部地域、北部地域においては全体平均を上回っていますが、東部地域及び南部地域の満足度は下回っています。また、世代別でも 20 代の満足度は他の世代に比べて低くなっています。



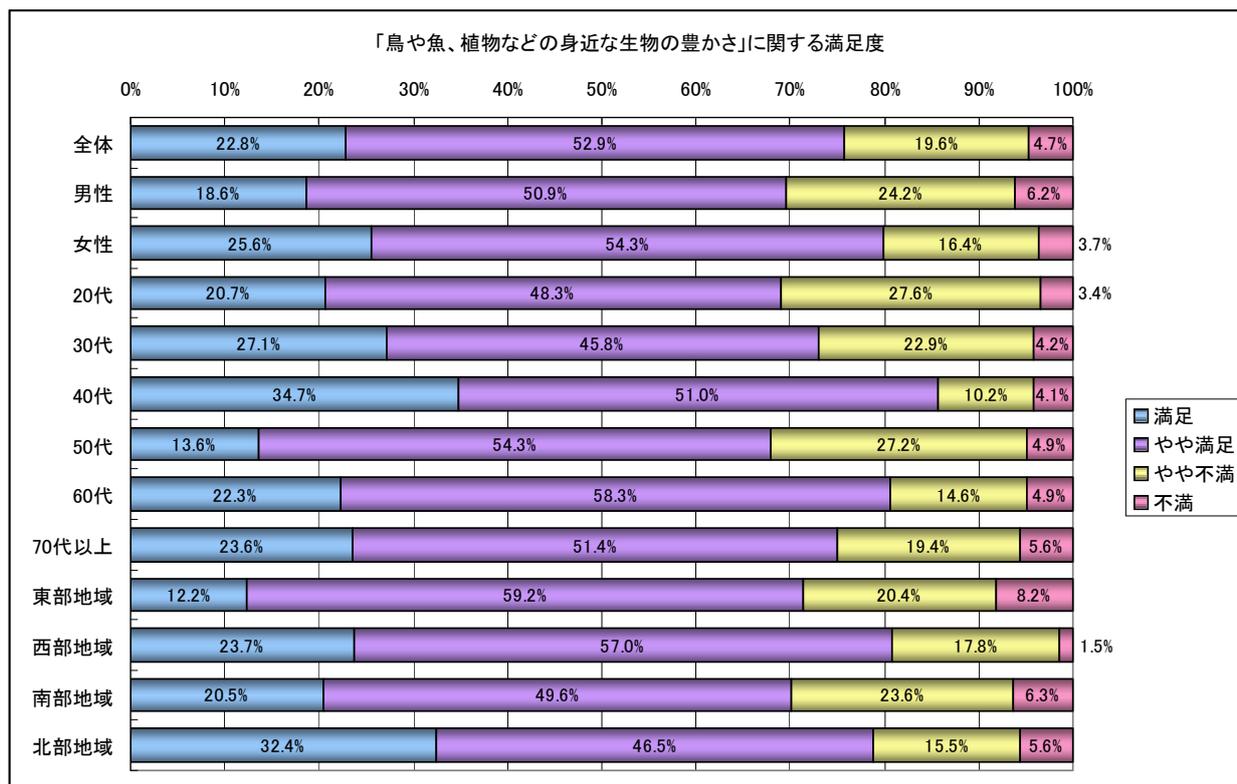
○山や森林などの自然の緑の美しさに関する満足度

全体的に満足度は良好です。特に 40 代では高い満足度を示しています。



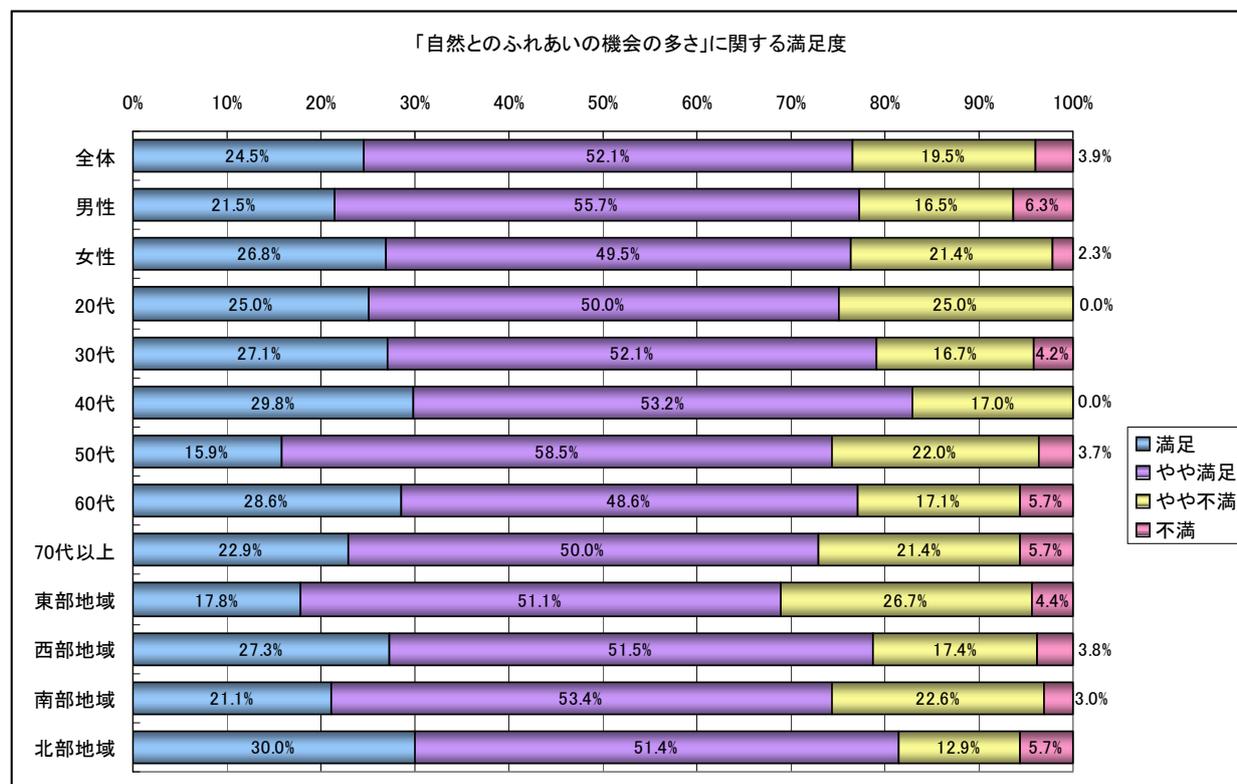
○鳥や魚、植物などの身近な生物の豊かさに関する満足度

東部地域、南部地域は他の地域に比べ、満足度が低くなっています。世代別では、40代、60代が他の世代に比べ、満足度が高くなっています。



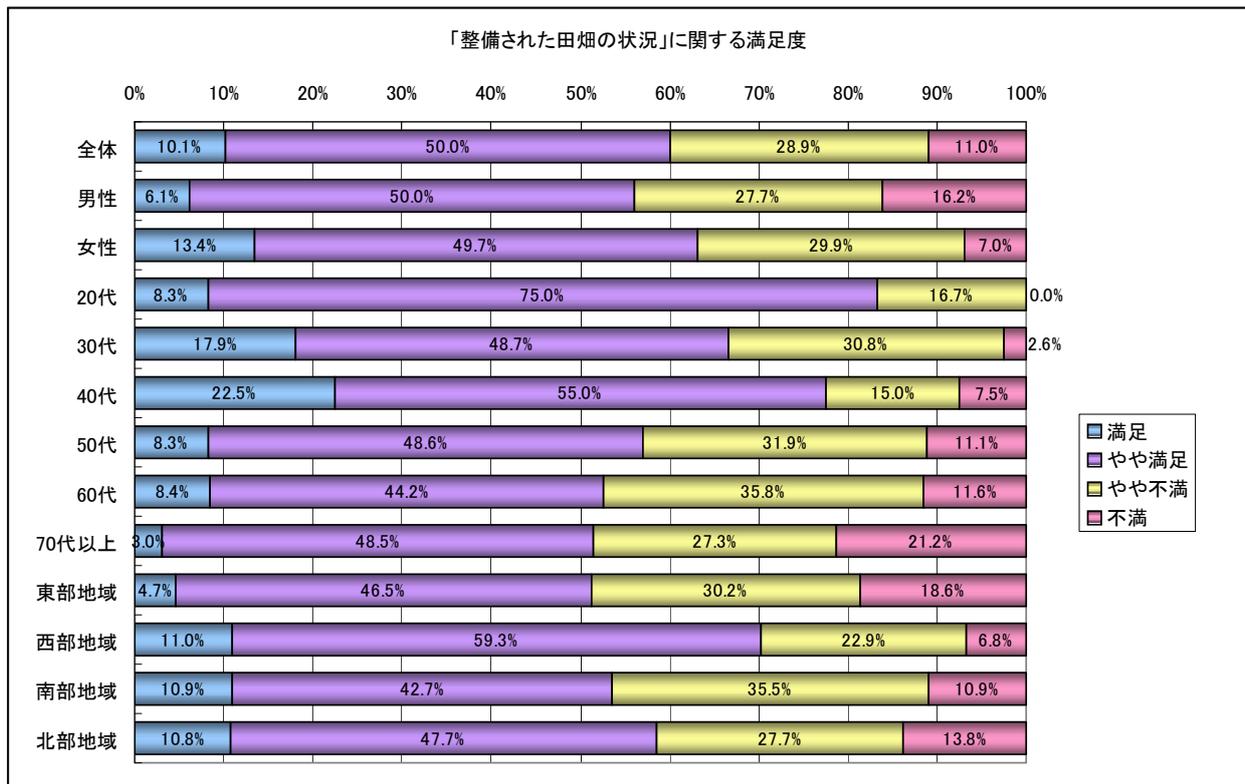
○自然とのふれあいの機会の多さに関する満足度

満足度は概ね良好です。20代、40代では、不満が0%になっています。



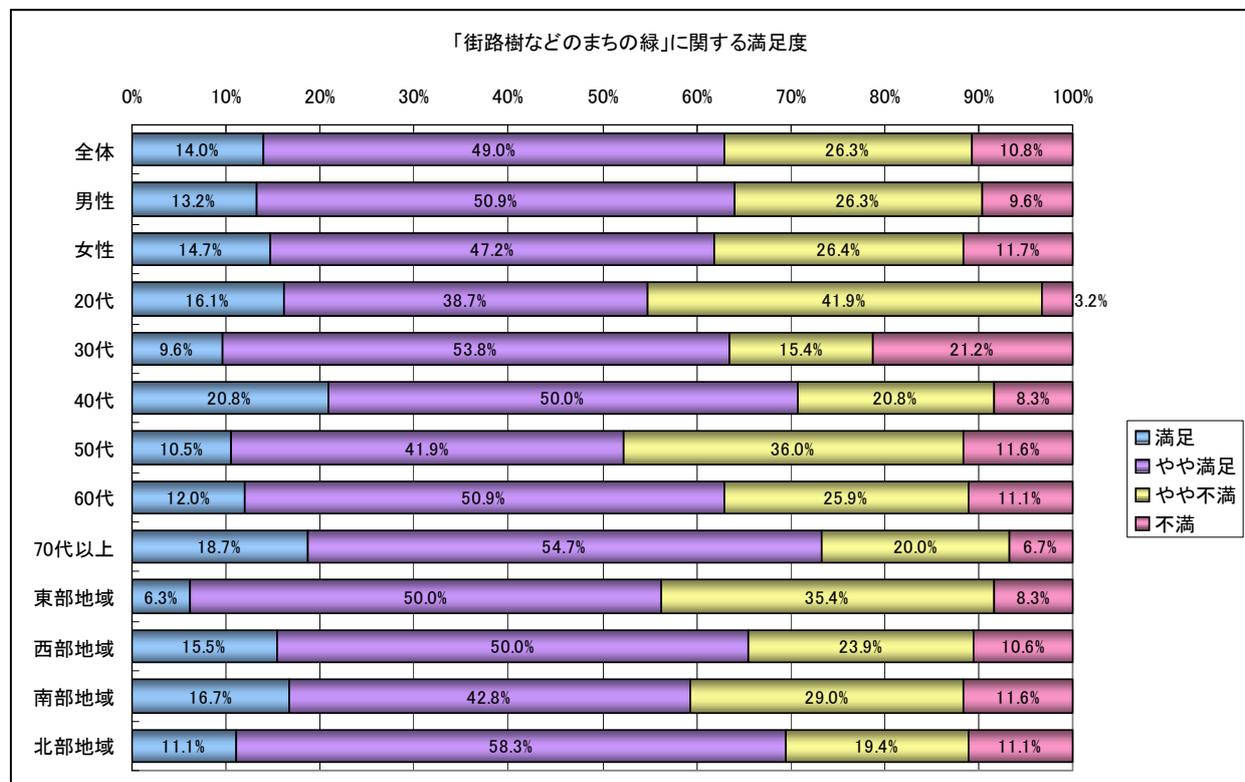
○整備された田畑の状況に関する満足度

全体での満足度は 60%程度です。年代別では、年代が上がるほど満足度が低くなる傾向にあります。また、西部地域は他の地域に比べて満足度が高くなっています。



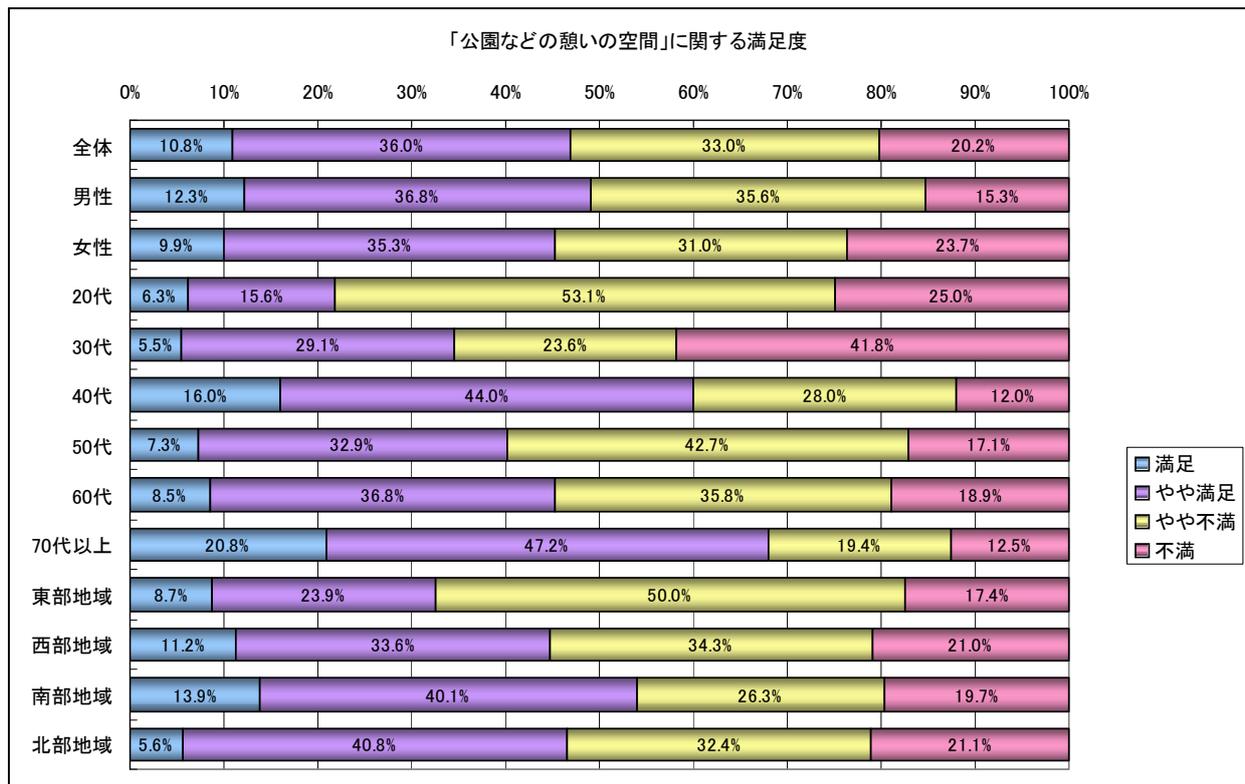
○街路樹などのまちの緑に関する満足度

世代別では、20代、50代が他の世代に比べ低くなっています。



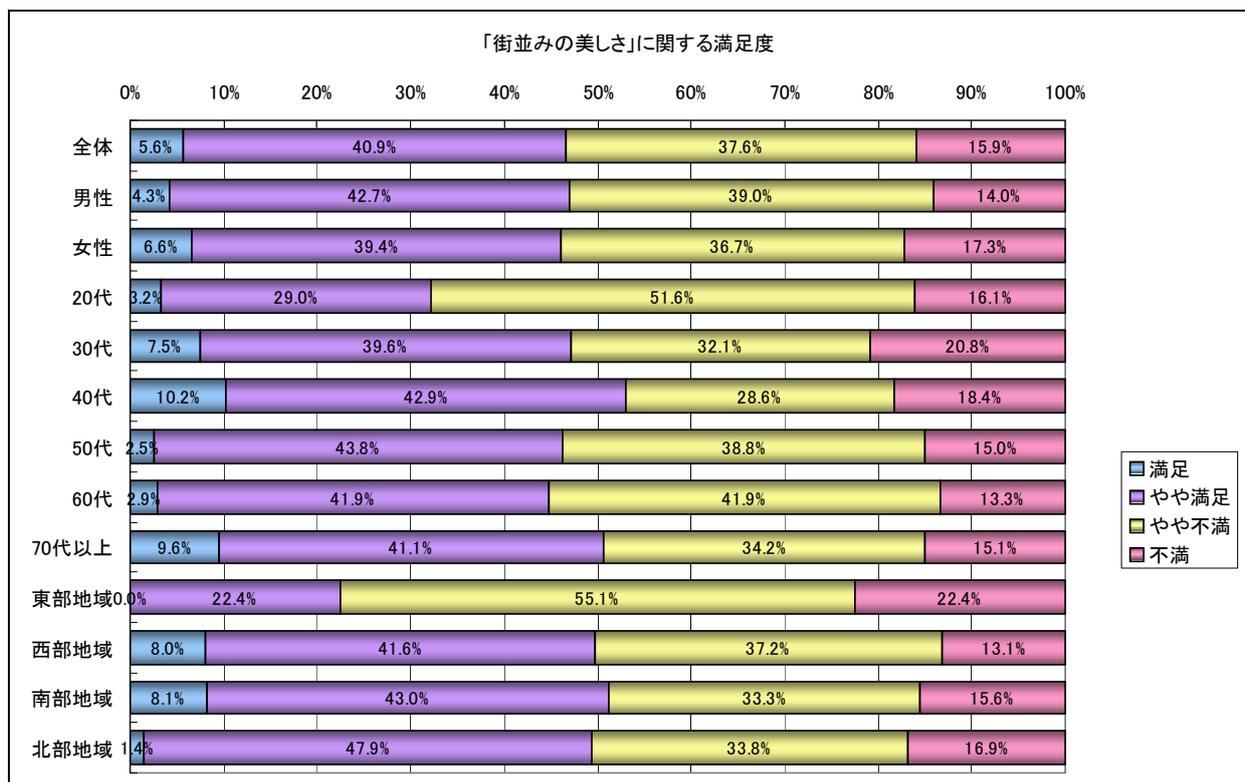
○公園などの憩いの空間に関する満足度

年代によって満足度にバラツキがあります。また、地域別では、東部地域の満足度が他地域に比べ、低くなっています。



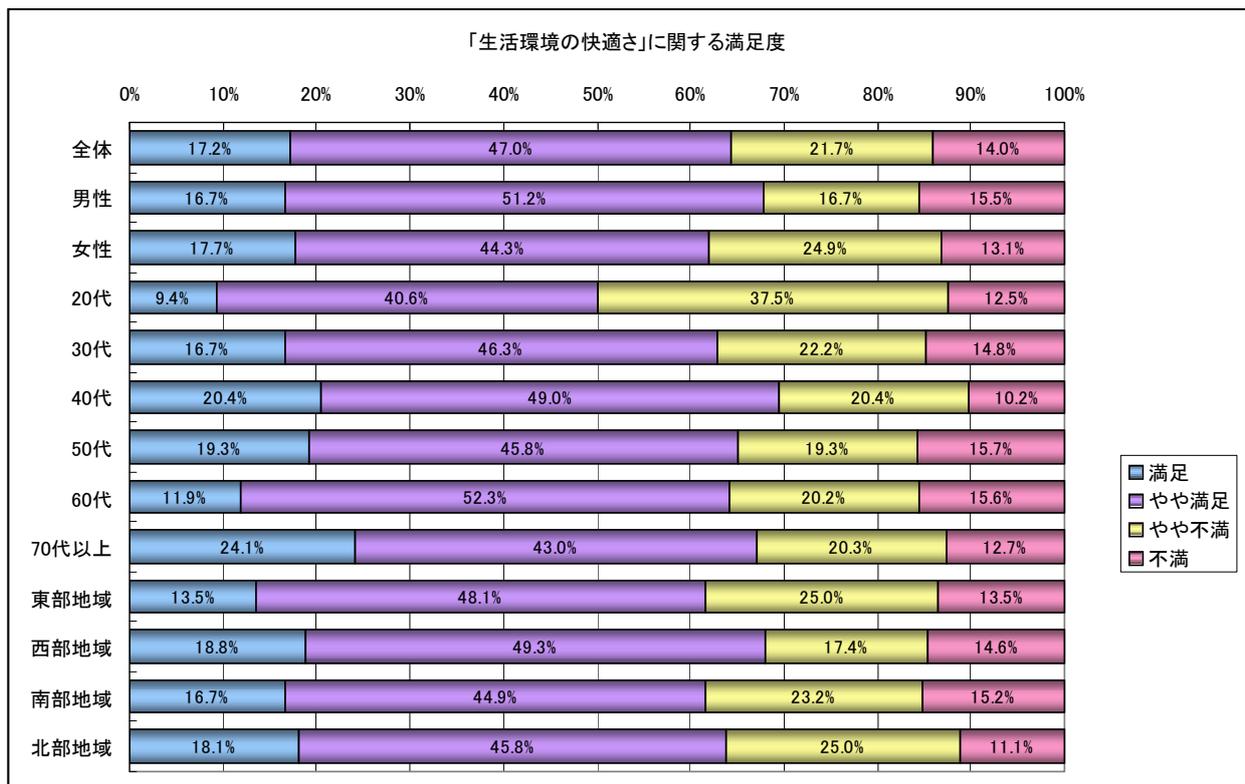
○街並みの美しさに関する満足度

全体的に満足度は50%程度ですが、20代及び東部地域の満足度が他の年代及び地域に比べ、低くなっています。



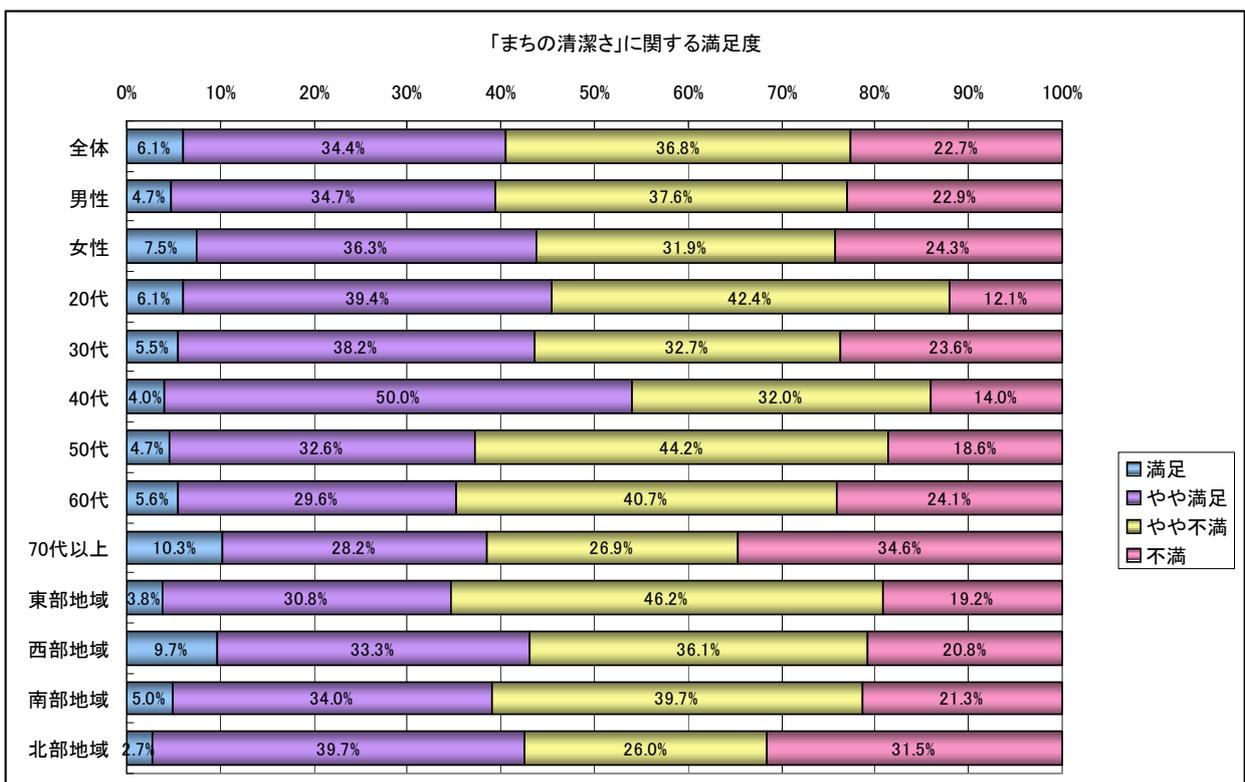
○生活環境の快適さに関する満足度

全体的に満足度は60~70%程度になっていますが、20代については50%と、多少低くなっています。



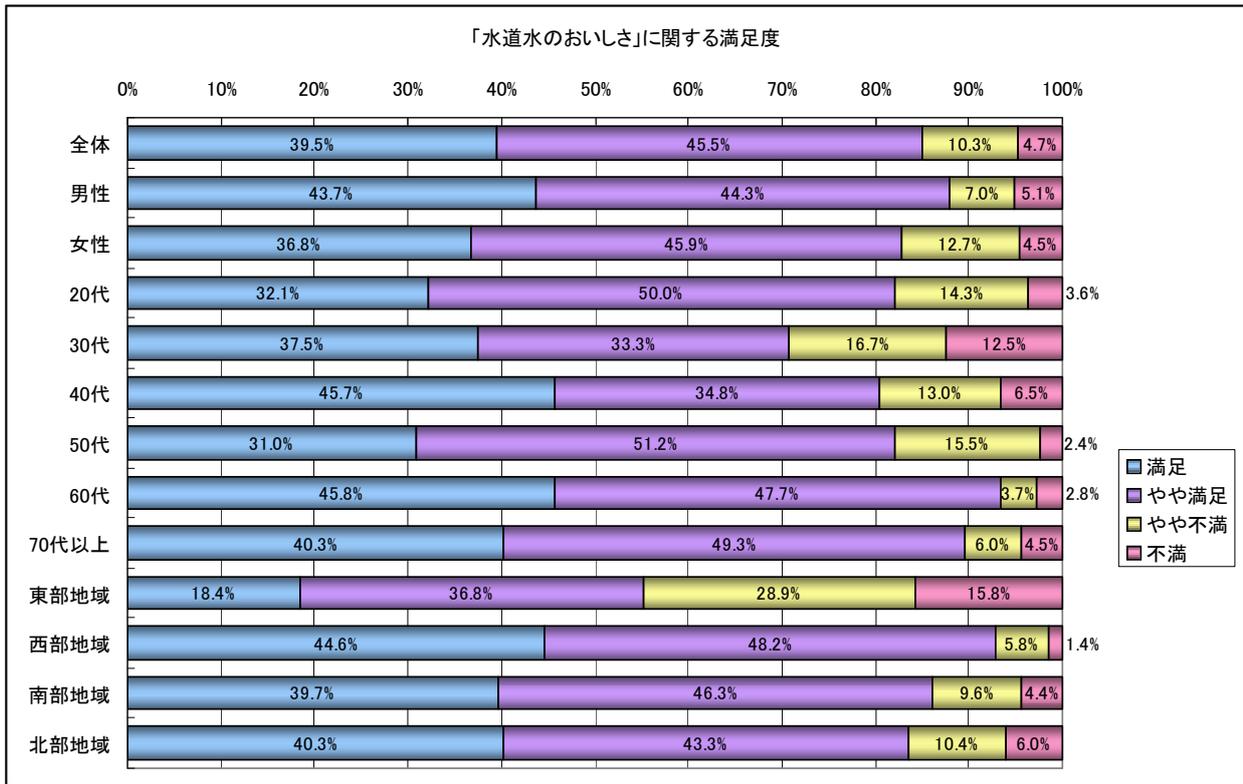
○まちの清潔さに関する満足度

40代については満足度が50%を超えています、その他は50%以下の満足度となっています。



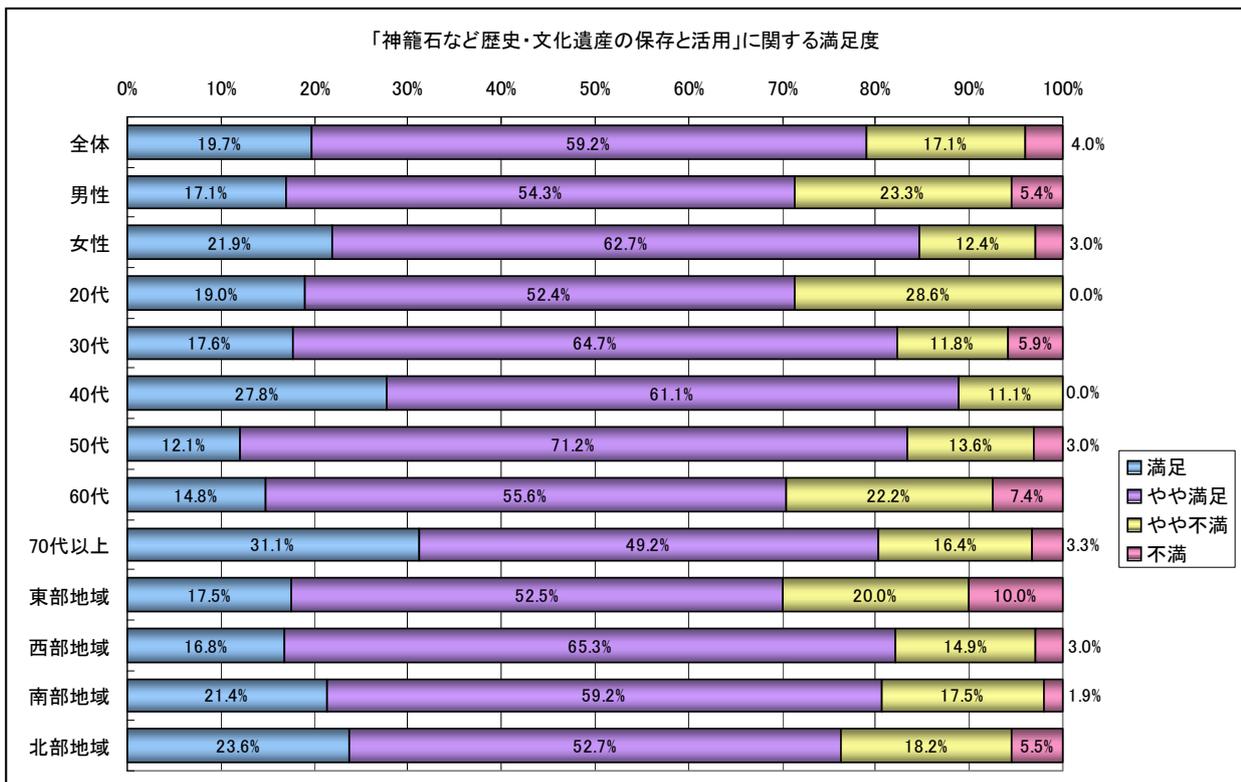
○水道水のおいしさに関する満足度

全体的に満足度は高いですが、現時点で簡易水道を使用している東部地域においては満足度が低くなっています。



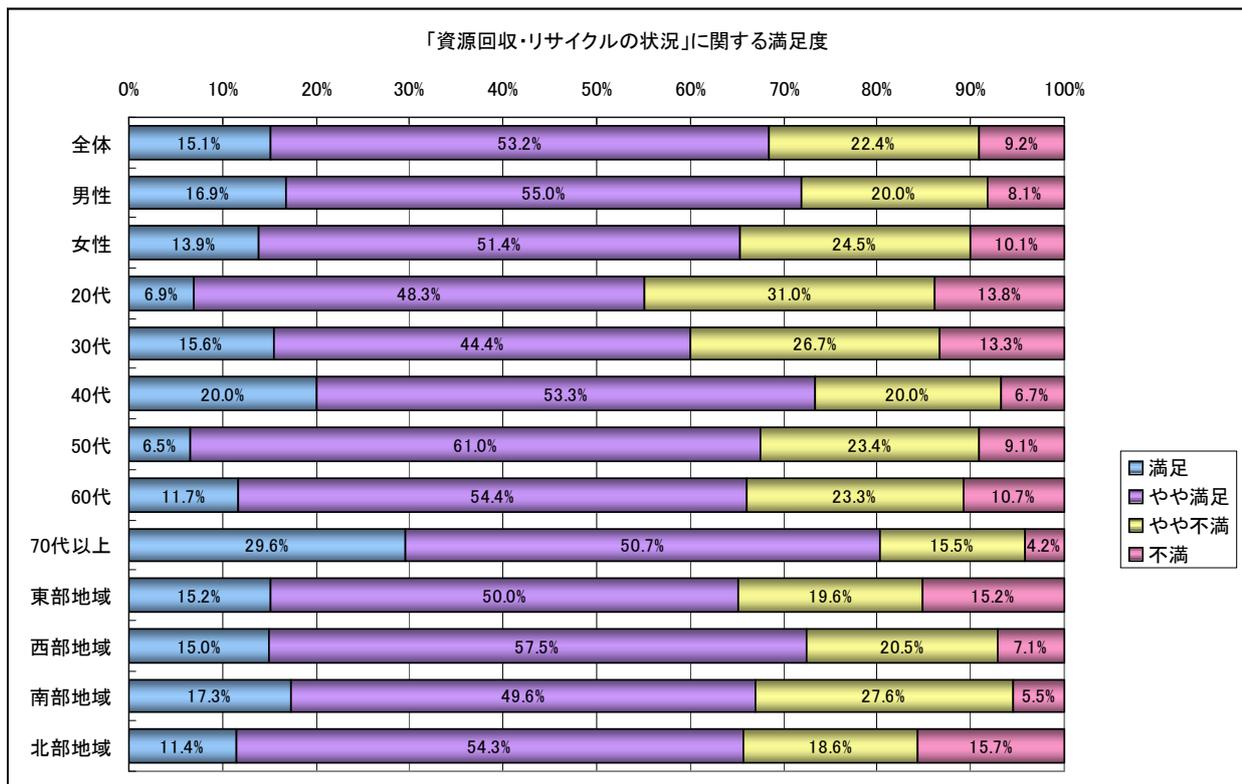
○神籠石など歴史・文化遺産の保存と活用に関する満足度

全体的に満足度は良好です。20代、40代では不満が0%になっています。



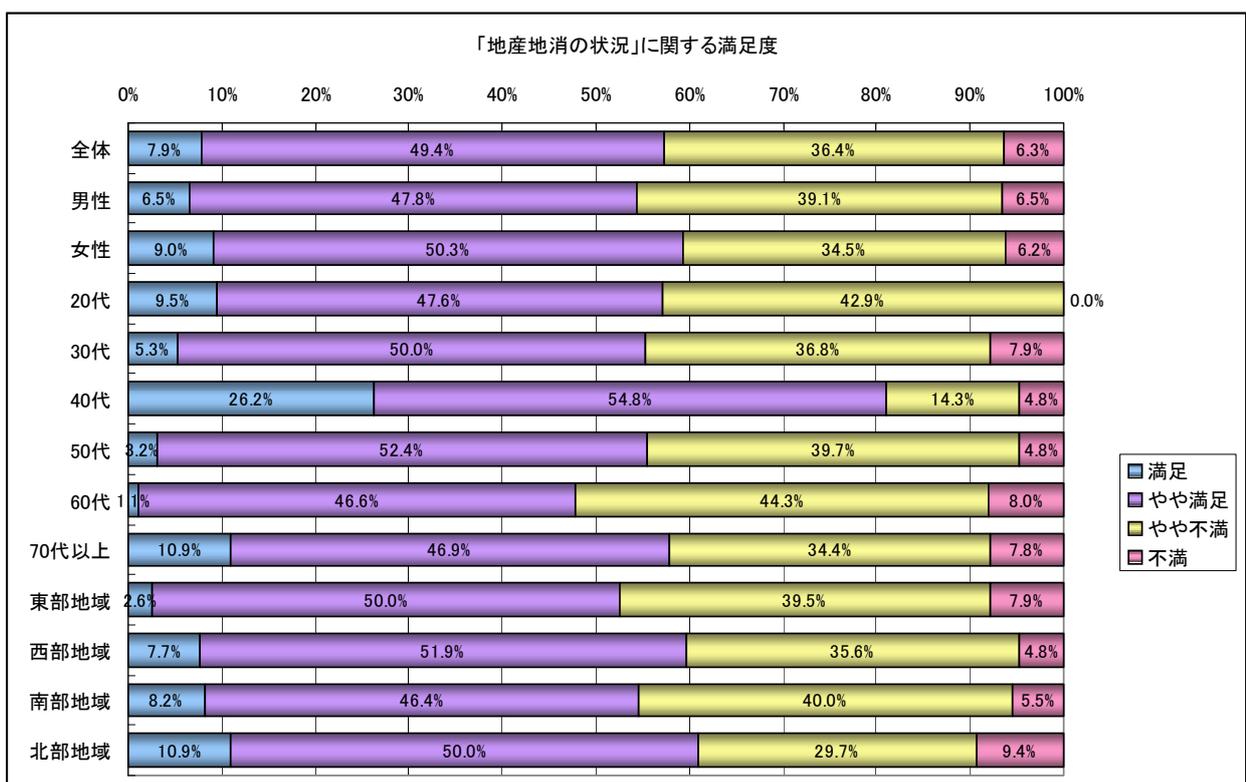
○資源回収・リサイクルの状況に関する満足度

全体では満足度は70%程度です。世代別では、20代が60%弱であるのに対し、70代以上では80%を超える数字になっています。



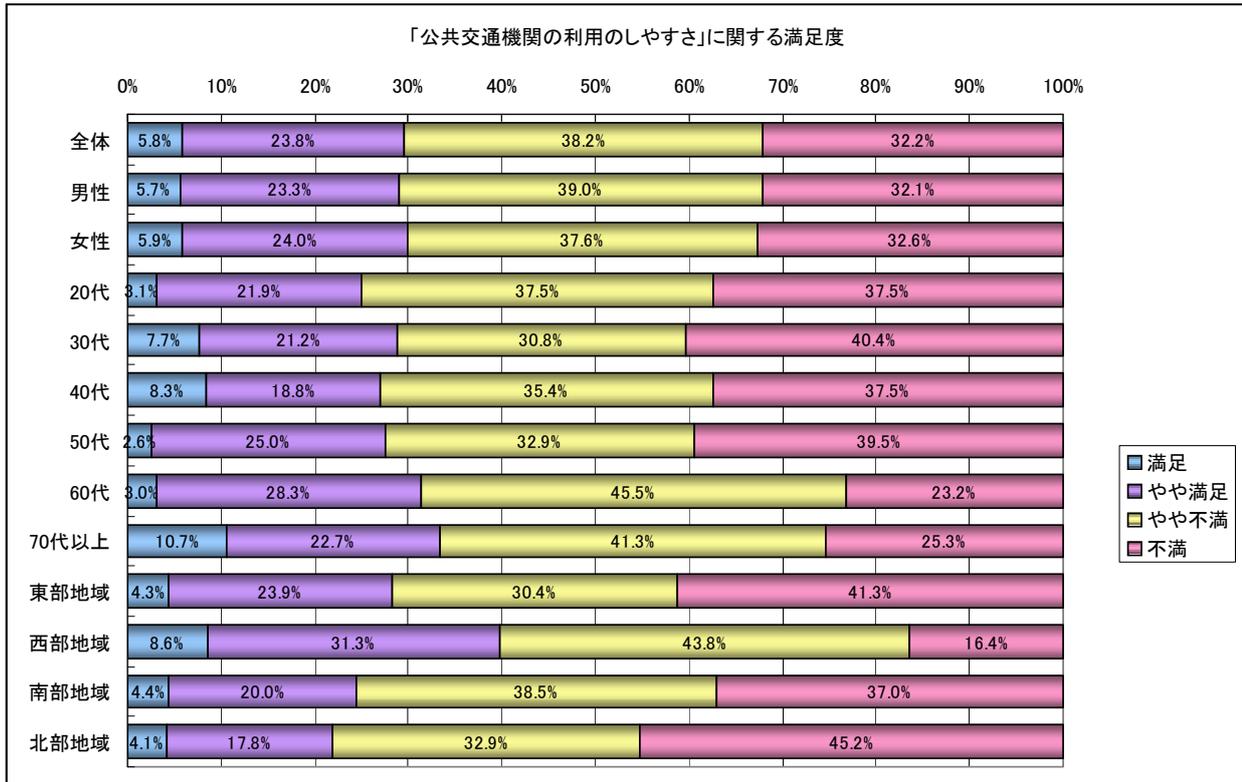
○地産地消の状況に関する満足度

全体的に満足度は50~60%程度ですが、40代では80%を超える満足度になっています。



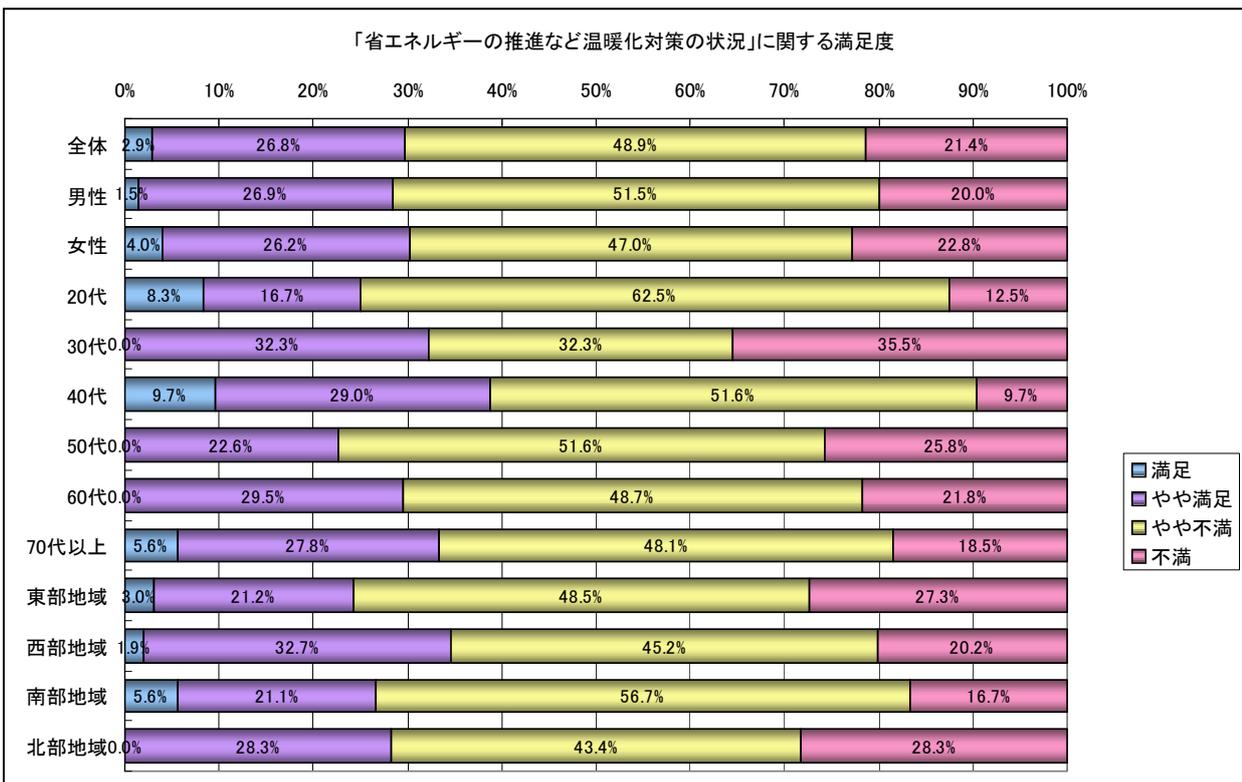
○公共交通機関の利用のしやすさに関する満足度

全体的に満足度が 40%以下と、低くなっています。地域別では、西部地域が他の地域に比べ、満足度が高くなっています。



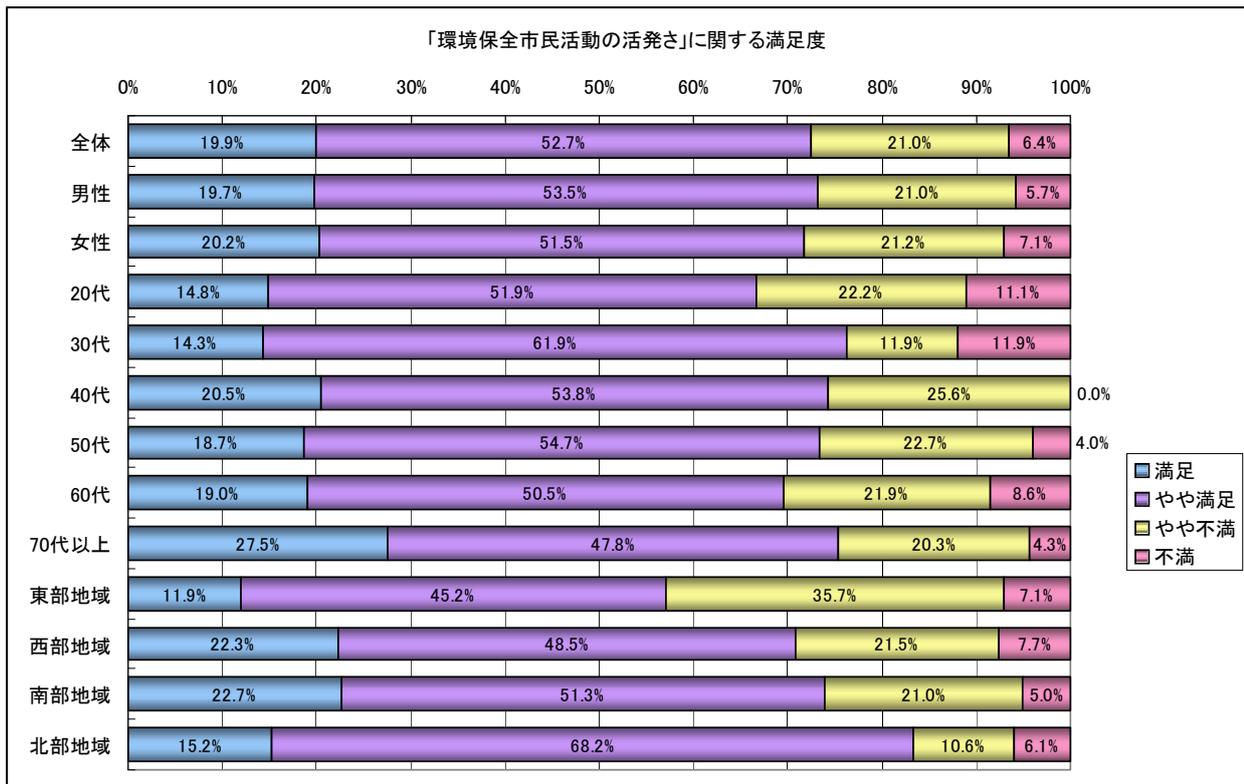
○省エネルギーの推進など温暖化対策の状況に関する満足度

男女、年代、地域にそれほど差はなく、全体的に 40%以下と低い満足度になっています。



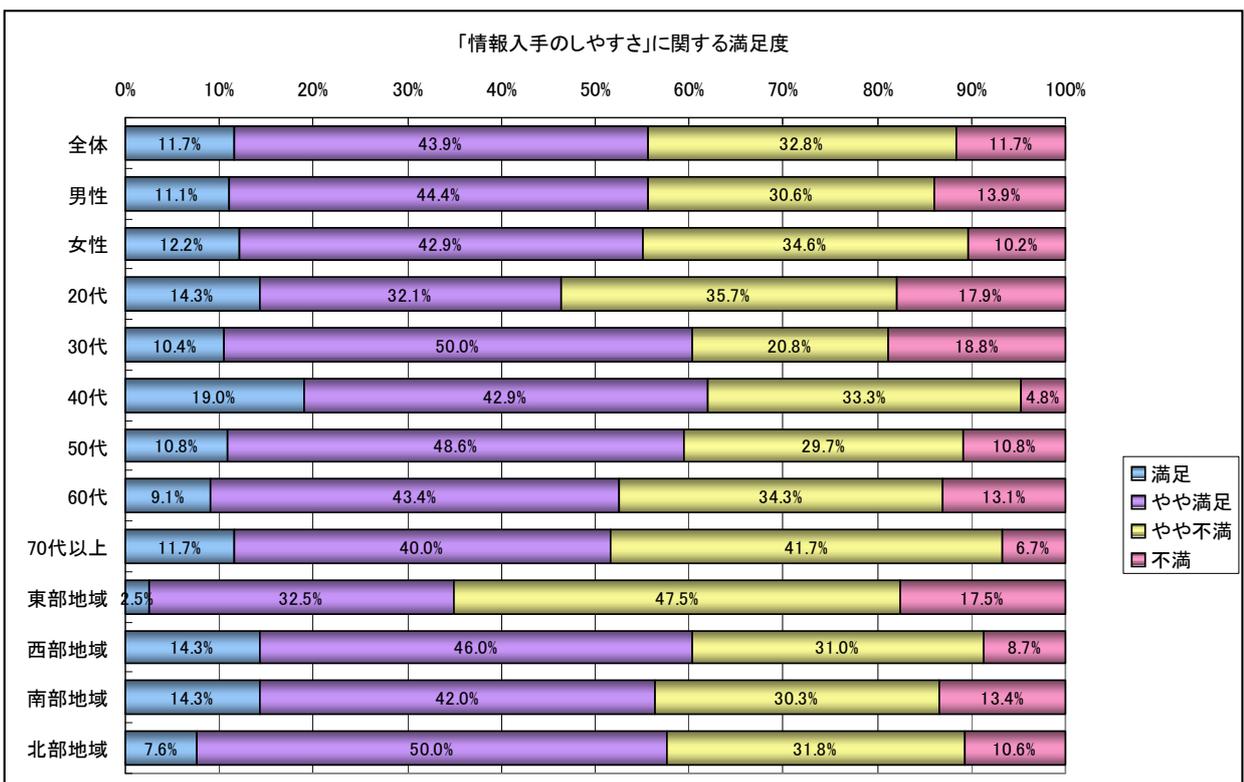
○環境保全市民活動の活発さ

男女別、年代別ではそれほど差はありませんが、東部地域と北部地域では満足度に差が出ています。



○情報入手のしやすさ

概ね 50~60%程度の満足度になっていますが、世代別では 20 代が、地域別では東部地域の満足度が低くなっています。



設問3 光市の環境で特に重要だと感じることは

設問2の項目のうち、「特に重要である」と思う項目を3つ選んでもらいました。「室積・虹ヶ浜海岸の美しさ」が最も多かったものの、続く回答は「生活環境の快適さ」、「まちの清潔さ」といった生活に密着した項目と、「資源回収・リサイクルの状況」、「省エネルギーなど温暖化対策の状況」など地球環境に関連する項目が続いています。「室積・虹ヶ浜海岸の美しさ」以外では、設問2において満足度が低かった項目が上位に並んでいます。

(全体)

項目	回答数	構成比
室積・虹ヶ浜海岸の美しさ	114	9.7%
川の水のきれいさ	84	7.1%
山や森林などの自然の緑の美しさ	54	4.6%
鳥や魚、植物などの身近な生物の豊かさ	30	2.5%
自然とのふれあいの機会の多さ	22	1.9%
整備された田畑の状況	18	1.5%
街路樹などのまちの緑	30	2.5%
公園などの憩いの空間	82	7.0%
街並みの美しさ	24	2.0%
生活環境の快適さ	111	9.4%
まちの清潔さ	111	9.4%
水道水のおいしさ	88	7.5%
神籠石など歴史・文化遺産の保存と活用	14	1.2%
資源回収・リサイクルの状況	108	9.2%
地産地消の状況	39	3.3%
公共交通機関の利用のしやすさ	98	8.3%
省エネルギーの推進など温暖化対策の状況	99	8.4%
環境保全市民活動の活発さ	37	3.1%
情報入手のしやすさ	16	1.4%
計	1179	100.0%

順位	回答数	項目
1	114	室積・虹ヶ浜海岸の美しさ
2	111	生活環境の快適さ
2	111	まちの清潔さ
4	108	資源回収・リサイクルの状況
5	99	省エネルギーの推進など温暖化対策の状況
6	98	公共交通機関の利用のしやすさ
7	88	水道水のおいしさ
8	84	川の水のきれいさ
9	82	公園などの憩いの空間
10	54	山や森林などの自然の緑の豊かさ
11	39	地産地消の状況
12	37	環境保全市民活動の活発さ
13	30	鳥や魚、植物などの身近な生物の豊かさ
13	30	街路樹などのまちの緑
15	24	街並みの美しさ
16	22	自然とのふれあいの機会の多さ
17	18	整備された田畑の状況
18	16	情報入手のしやすさ
19	14	神籠石など歴史・文化遺産の保存と活用

(特に重要だと感じること～地域別～)

項目	東部地区	西部地区	南部地区	北部地区
	回答数	回答数	回答数	回答数
室積・虹ヶ浜海岸の美しさ	10	42	44	18
川の水のきれいさ	8	34	22	20
山や森林などの自然の緑の美しさ	6	16	18	14
鳥や魚、植物などの身近な生物の豊かさ	2	10	11	7
自然とのふれあいの機会の多さ	1	9	6	6
整備された田畑の状況	4	4	6	4
街路樹などのまちの緑	2	10	14	4
公園などの憩いの空間	10	36	23	13
街並みの美しさ	1	10	11	2
生活環境の快適さ	12	39	44	16
まちの清潔さ	11	47	36	17
水道水のおいしさ	10	42	27	12
神籠石など歴史・文化遺産の保存と活用	6	4	2	2
資源回収・リサイクルの状況	14	40	41	13
地産地消の状況	3	9	13	11
公共交通機関の利用のしやすさ	13	21	39	25
省エネルギーの推進など温暖化対策の状況	15	35	31	18
環境保全市民活動の活発さ	2	14	14	7
情報入手のしやすさ	5	4	2	5

地区 \ 順位	1	2	3
東部地区	省エネルギーの推進など温暖化対策の状況	資源回収・リサイクルの状況	公共交通機関の利用のしやすさ
西部地区	まちの清潔さ	室積・虹ヶ浜海岸の美しさ 水道水のおいしさ	
南部地区	室積・虹ヶ浜海岸の美しさ 生活環境の快適さ		資源回収・リサイクルの状況
北部地区	公共交通機関の利用のしやすさ	川の水のきれいさ	室積・虹ヶ浜海岸の美しさ 省エネルギーの推進など温暖化対策の状況

(特に重要だと感じる事～年代別～)

項目	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
	回答数	回答数	回答数	回答数	回答数	回答数
室積・虹ヶ浜海岸の美しさ	13	17	11	16	31	26
川の水のきれいさ	7	5	11	14	31	16
山や森林などの自然の緑の美しさ	5	7	7	10	14	11
鳥や魚、植物などの身近な生物の豊かさ	5	4	0	8	6	7
自然とのふれあいの機会の多さ	2	4	2	8	4	2
整備された田畑の状況	0	0	1	4	7	6
街路樹などのまちの緑	1	5	3	8	5	8
公園などの憩いの空間	10	28	11	14	12	7
街並みの美しさ	2	5	3	5	7	2
生活環境の快適さ	7	9	15	29	28	23
まちの清潔さ	10	9	15	28	27	22
水道水のおいしさ	2	8	12	23	24	19
神籠石など歴史・文化遺産の保存と活用	0	1	1	2	5	5
資源回収・リサイクルの状況	7	19	16	22	31	13
地産地消の状況	2	3	5	10	13	6
公共交通機関の利用のしやすさ	10	14	17	19	26	12
省エネルギーの推進など温暖化対策の状況	9	14	11	23	20	22
環境保全市民活動の活発さ	0	4	5	7	12	9
情報入手のしやすさ	4	5	1	2	4	0

順位 年代	1	2	3
20代	室積・虹ヶ浜海岸の美しさ	公園などの憩いの空間	
		まちの清潔さ	
		公共交通機関の利用のしやすさ	
30代	公園などの憩いの空間	資源回収・リサイクルの状況	室積・虹ヶ浜海岸の美しさ
40代	公共交通機関の利用のしやすさ	資源回収・リサイクルの状況	生活環境の快適さ
			まちの清潔さ
50代	生活環境の快適さ	まちの清潔さ	水道水のおいしさ
			省エネルギーの推進など温暖化対策の状況
60代	室積・虹ヶ浜海岸の美しさ		
	川の水のきれいさ		
	資源回収・リサイクルの状況		
70代以上	室積・虹ヶ浜海岸の美しさ	生活環境の快適さ	まちの清潔さ
			省エネルギーの推進など温暖化対策の状況

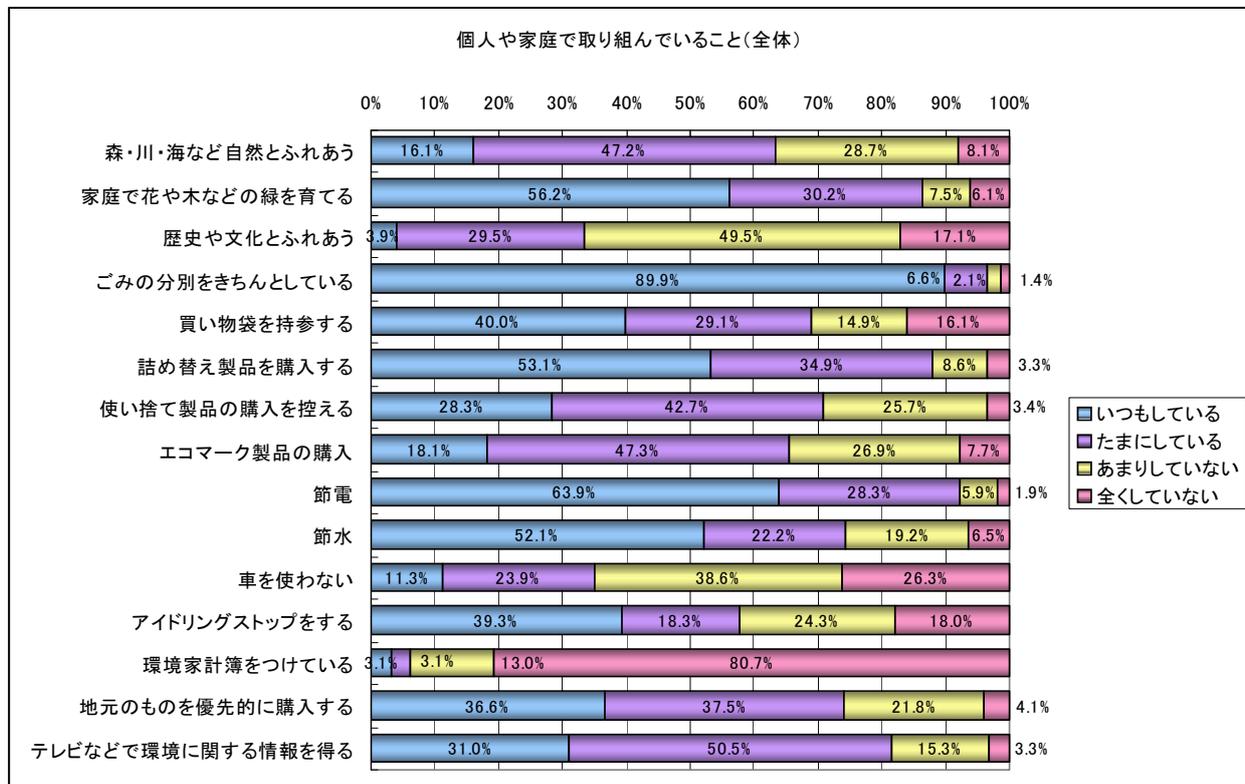
設問4 個人や家庭で取り組んでいること

環境に関することで、個人や家庭で取り組んでいることを回答してもらいました。

「ごみの分別」、「節電」の2項目は、「いつもしている」、「たまにしている」を合わせた数字が90%を超える一方、「歴史や文化とふれあう」、「車を使わない」、「環境家計簿をつけている」の3項目は40%にも満たない数字となっています。特に、「車を使わない」の項目に関しては、設問2の「公共交通機関の利用のしやすさ」で満足度が低くなっていることと相関関係にあるものと思われます。

男女別では、「森・川・海など自然とふれあう」や「家庭で花や木などの緑を育てる」など外での活動的な項目で男性が女性を上回っている半面、「ごみの分別」、「買い物袋の持参」、「節電」、「節水」など家庭内における項目は女性が男性を上回っています。ただし、「テレビなどで環境に関する情報を得る」では、男性が女性を上回り、環境に対する関心は男性の方が若干高いと思われます。

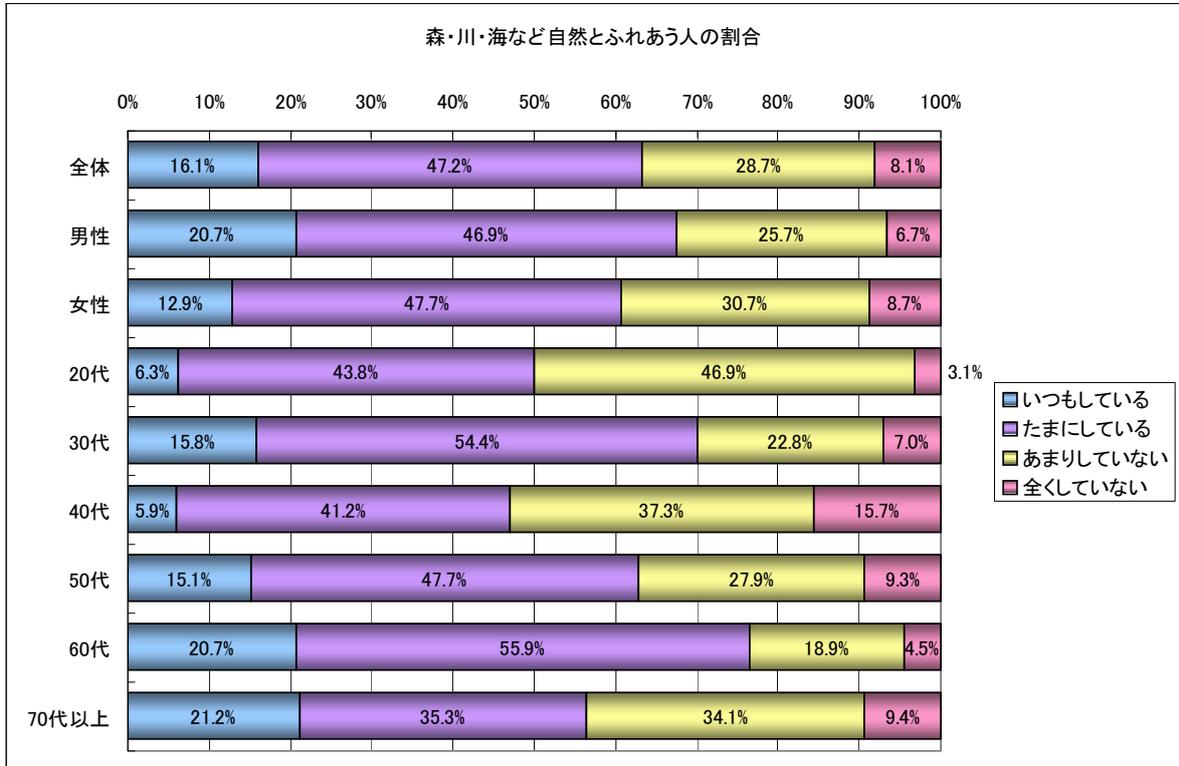
年代別では、年代が上がるほど全体の平均を上回る項目数が増える傾向にありますが、40代については大幅に下回っています。40代以下については、「詰め替え製品を購入する」が平均を上回っているものの、50代以上では下回る結果となっています。



～項目別一覧～

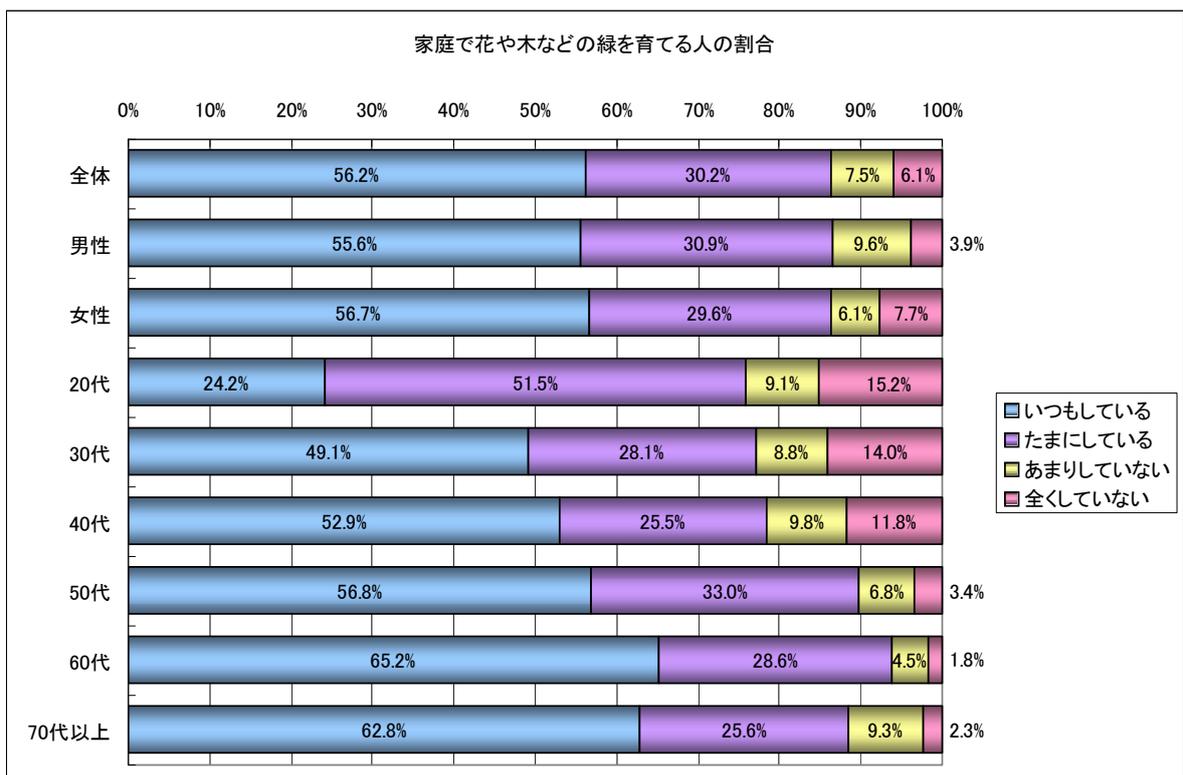
○森・川・海など自然とふれあう人の割合

30代、60代においては全体に比べふれあう人の割合が高くなっています。



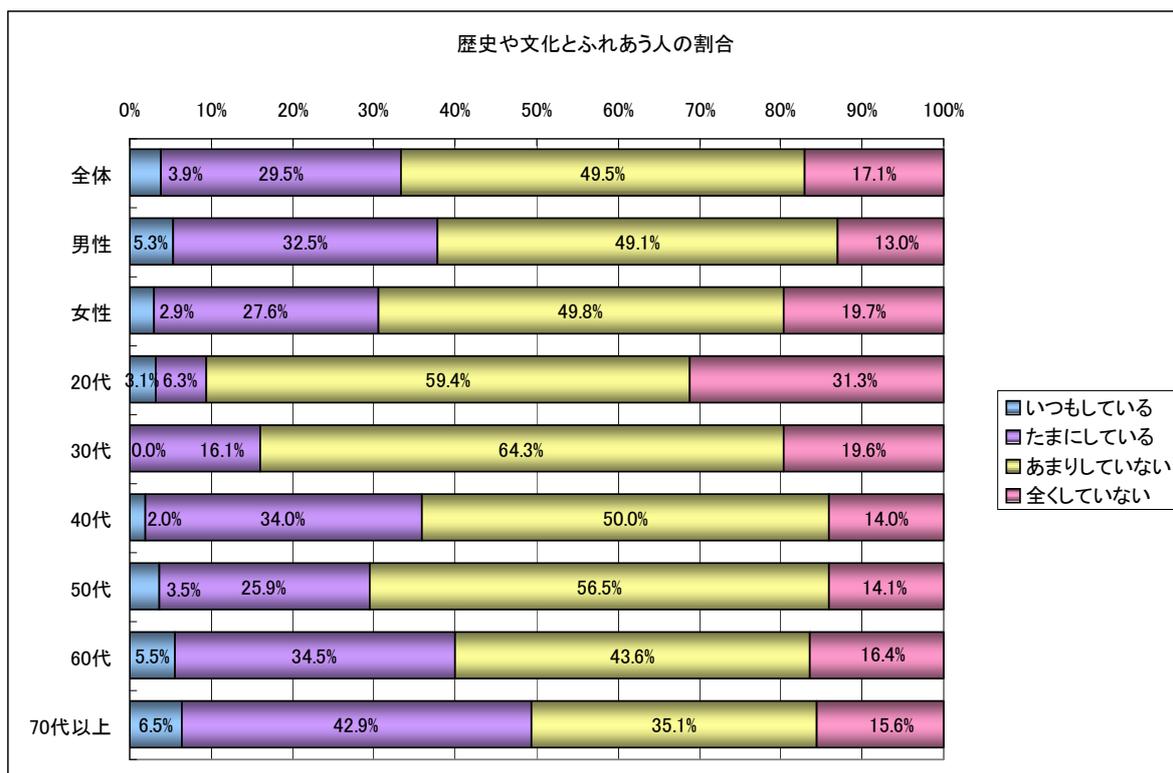
○家庭で花や木などの緑を育てる人の割合

年代が高くなるにつれてしている人の割合も高くなっていきます。



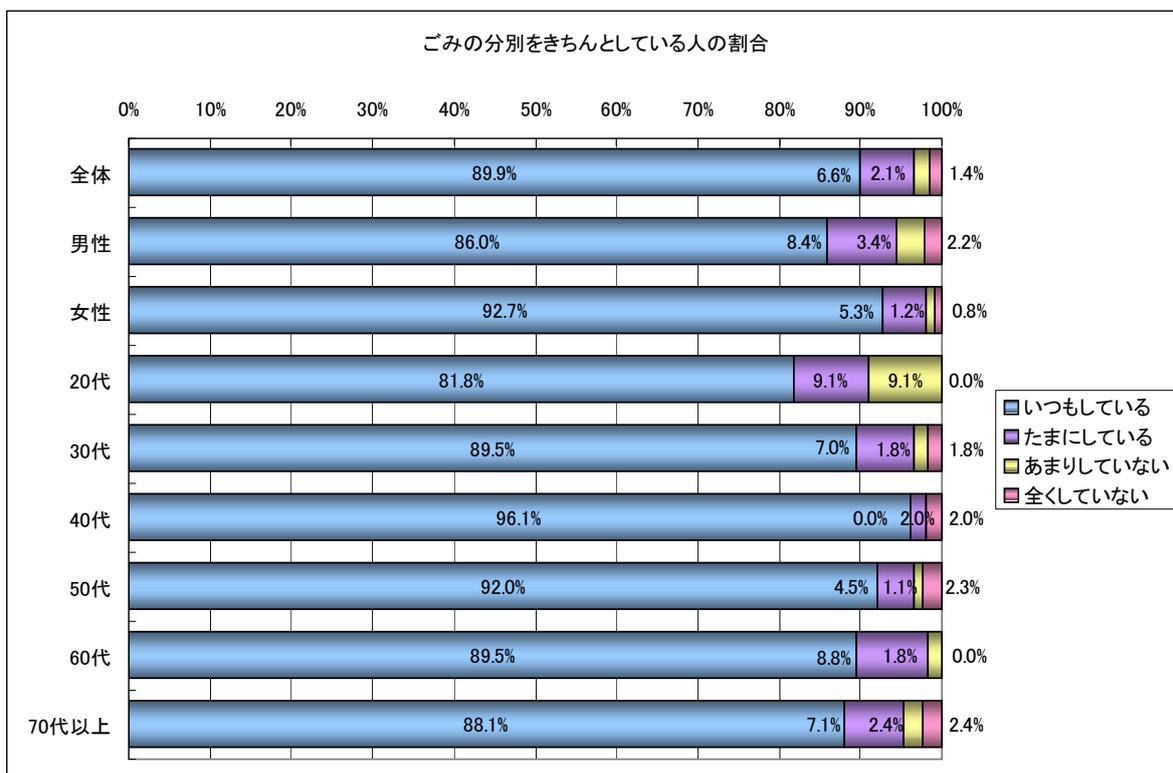
○歴史や文化とふれあう人の割合

全体的に低い割合ですが、この項目も年代が上がるにつれてふれあう人の割合が多くなっています。



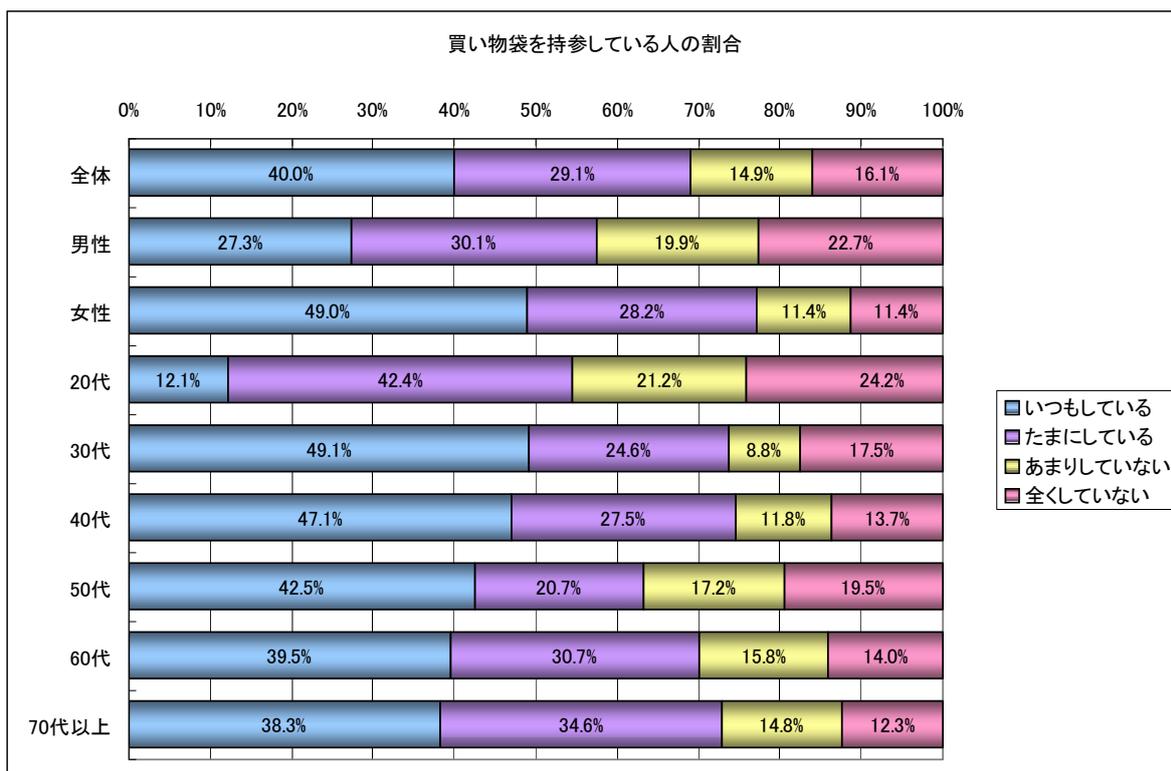
○ごみの分別をきちんとしている人の割合

全体的にほとんどの人がきちんと分別をしています。



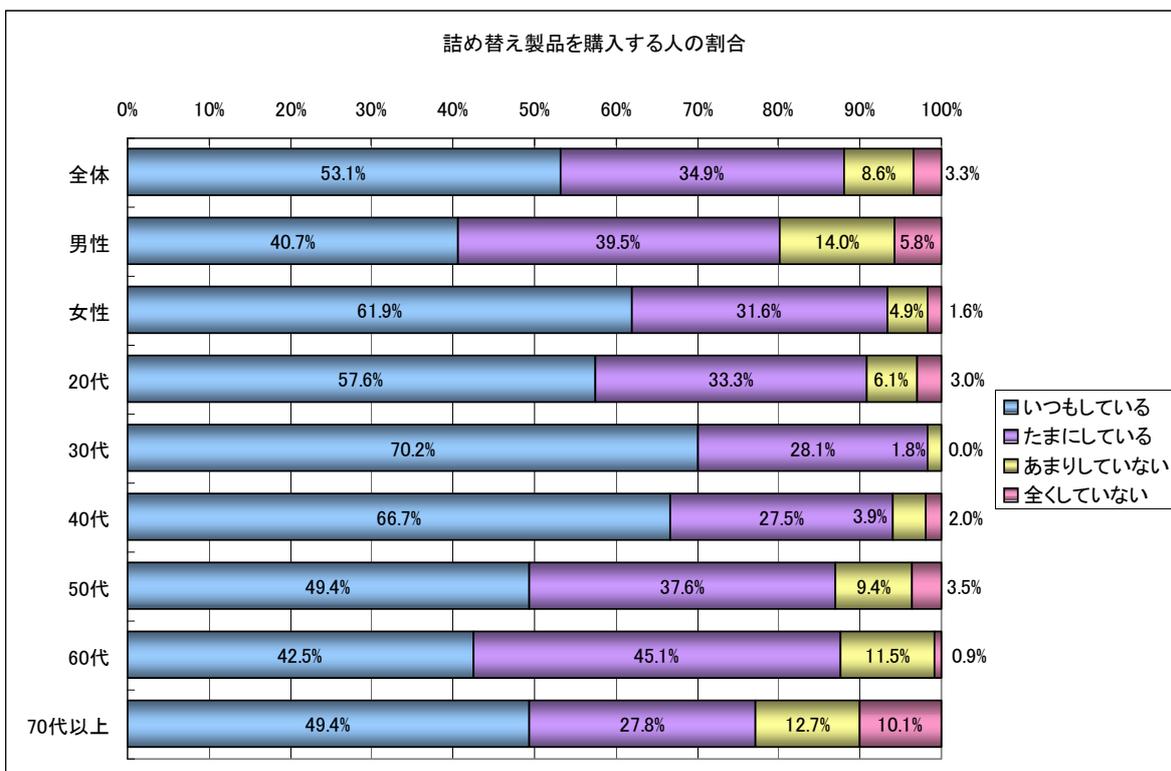
○買い物袋を持参している人の割合

男女別では女性の割合が高くなっており、年代別では、20代の割合が低くなっています。



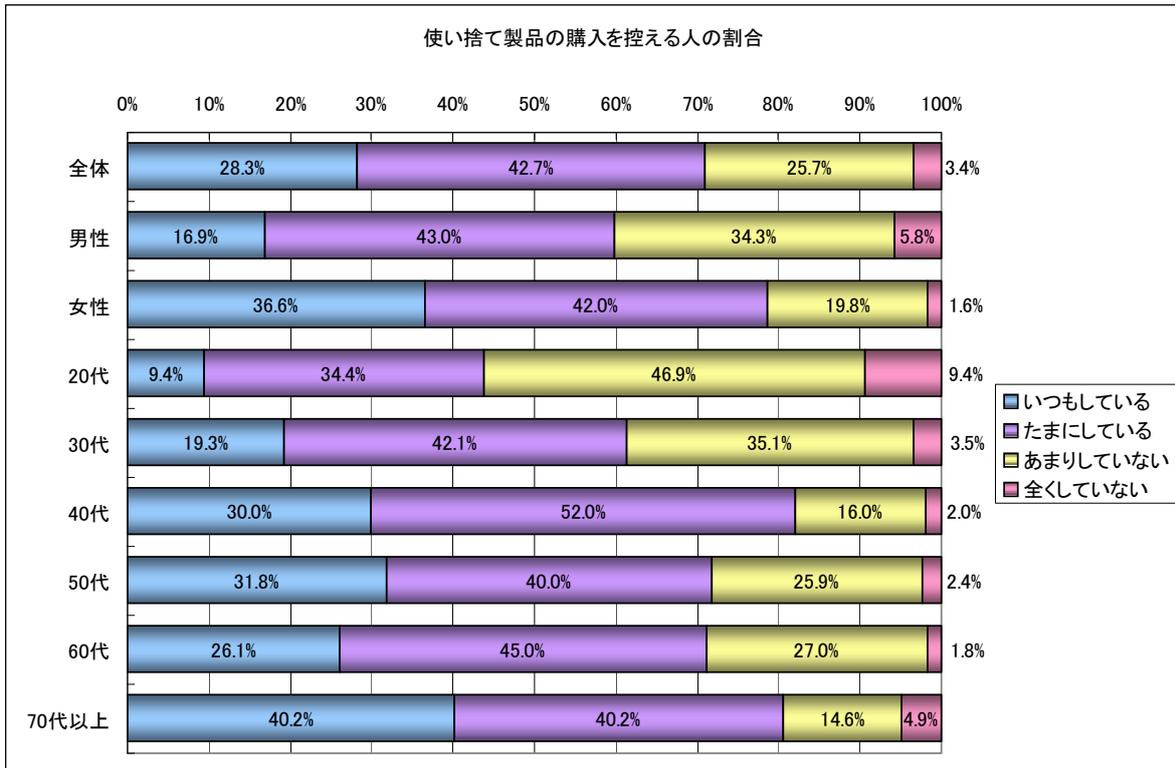
○詰め替え製品を購入する人の割合

この項目でも、男性より女性の方がしている割合は高くなっています。



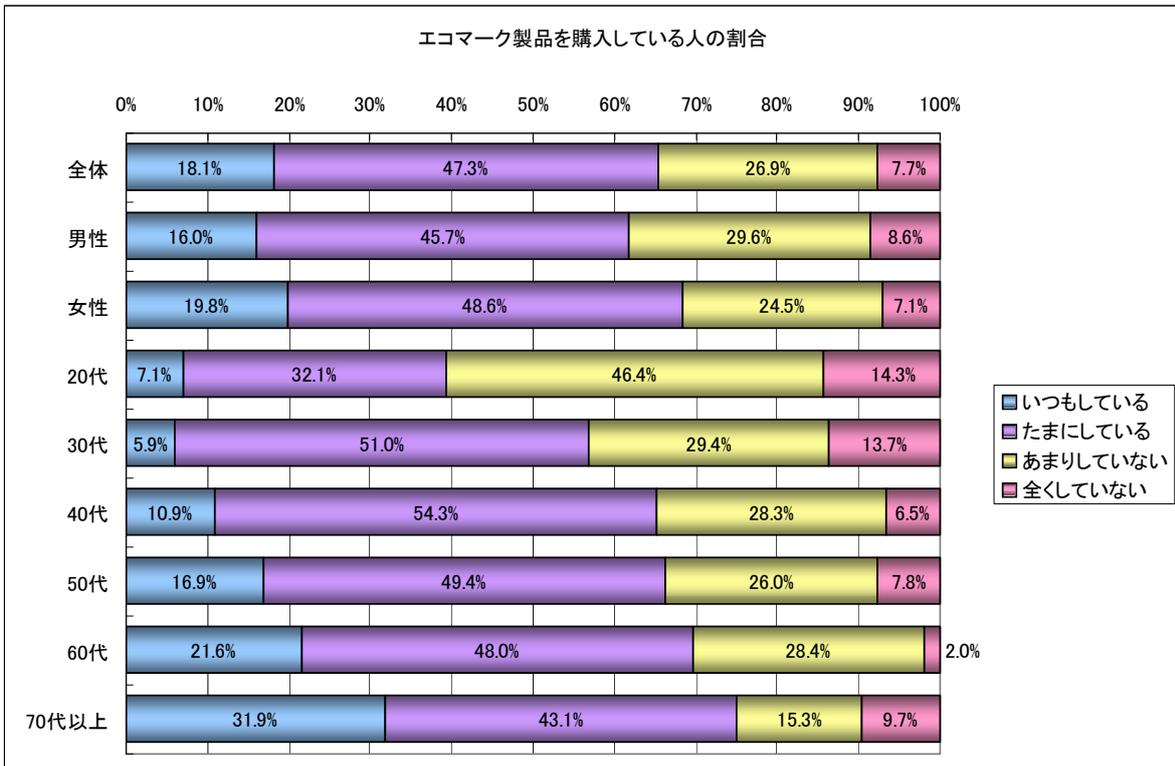
○使い捨て製品の購入を控える人の割合

男性より女性、若年層より高齢層の方がしている人の割合が高くなっています。



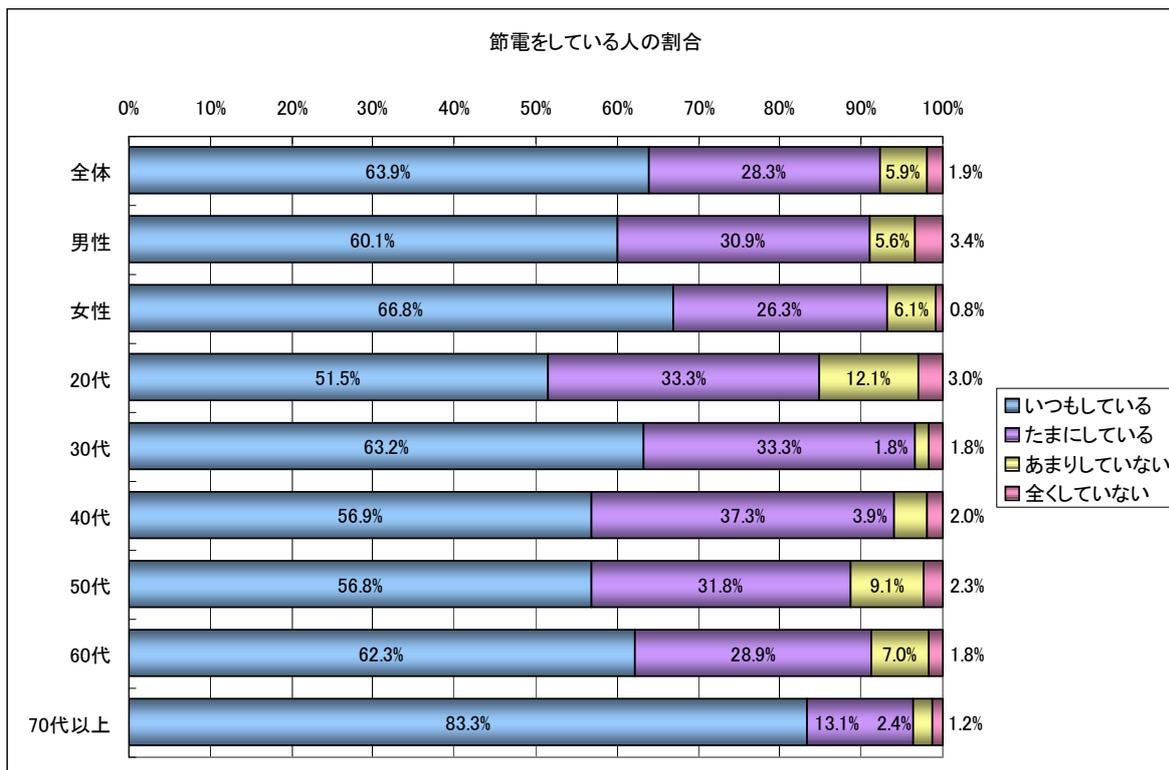
○エコマーク製品を購入している人の割合

男女別ではあまり差がありませんが、年齢層が上がるにつれて購入する人の割合が増えています。



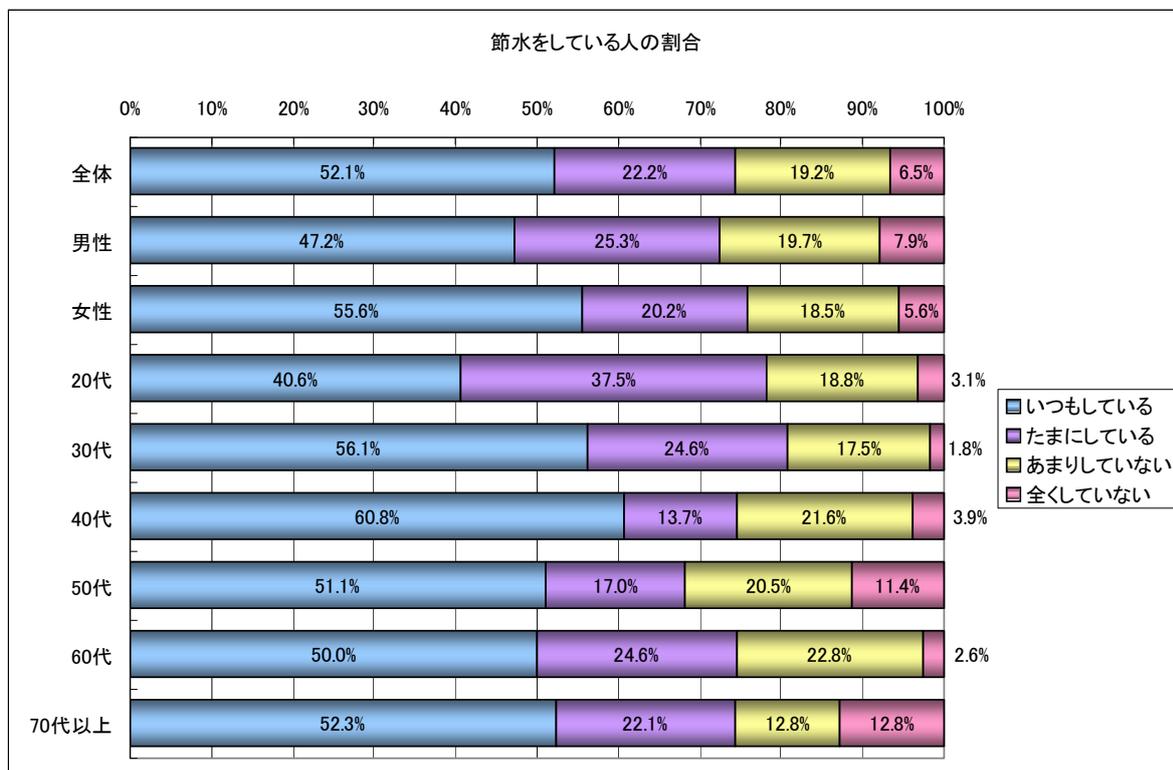
○節電をしている人の割合

している人の割合は高く、節電意識の高さが伺えます。



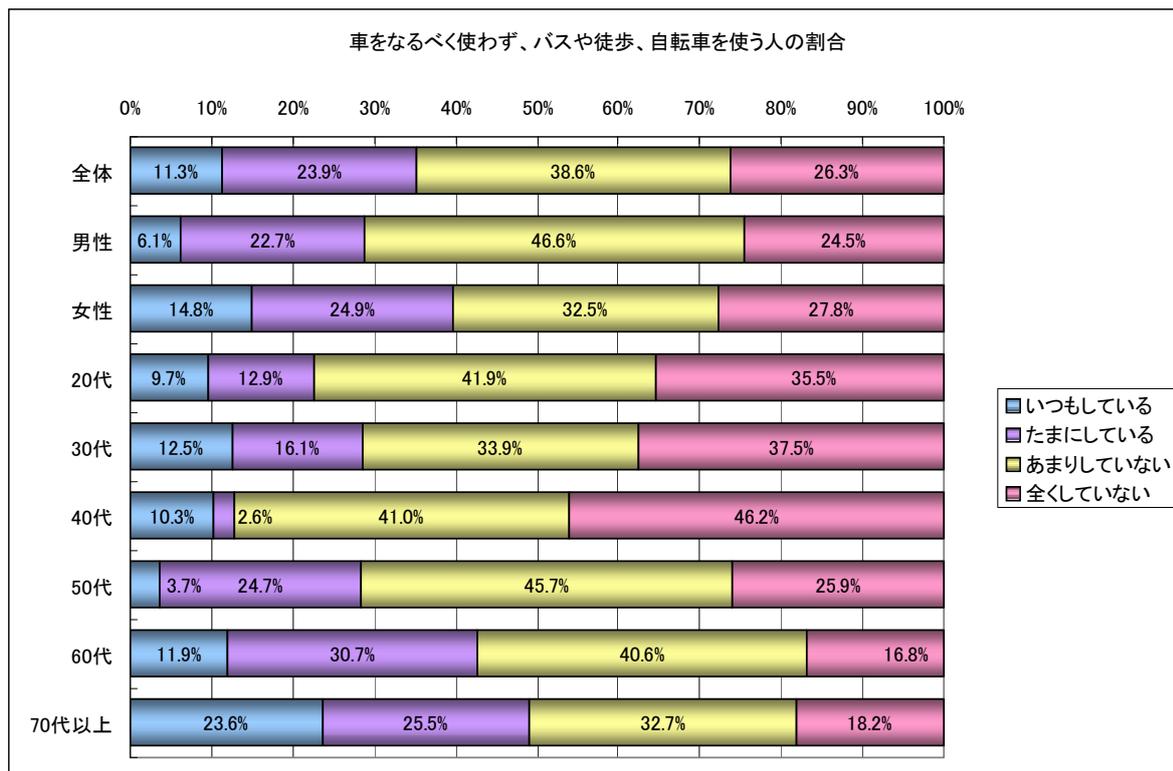
○節水をしている人の割合

節電に比べるとしている人の割合が低くなっています。



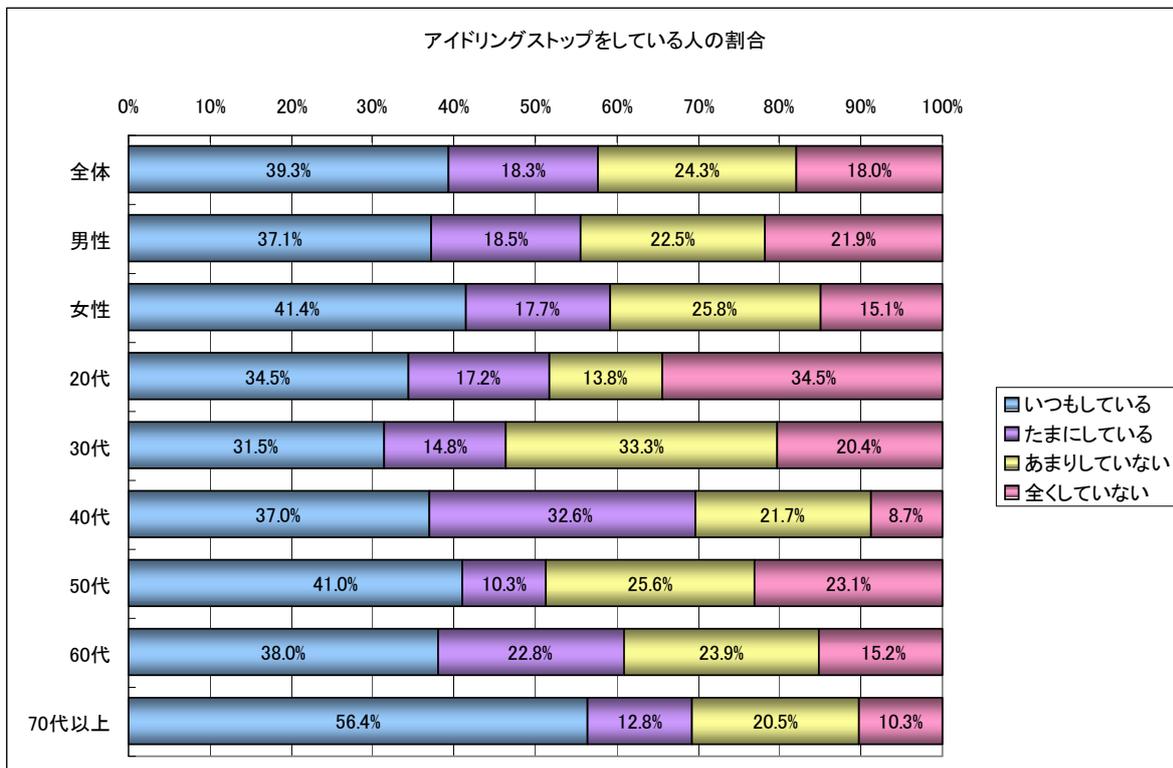
○車をなるべく使わず、バスや徒歩、自転車を使う人の割合

40代では、他の年代に比べて、している人の割合が低くなっています。



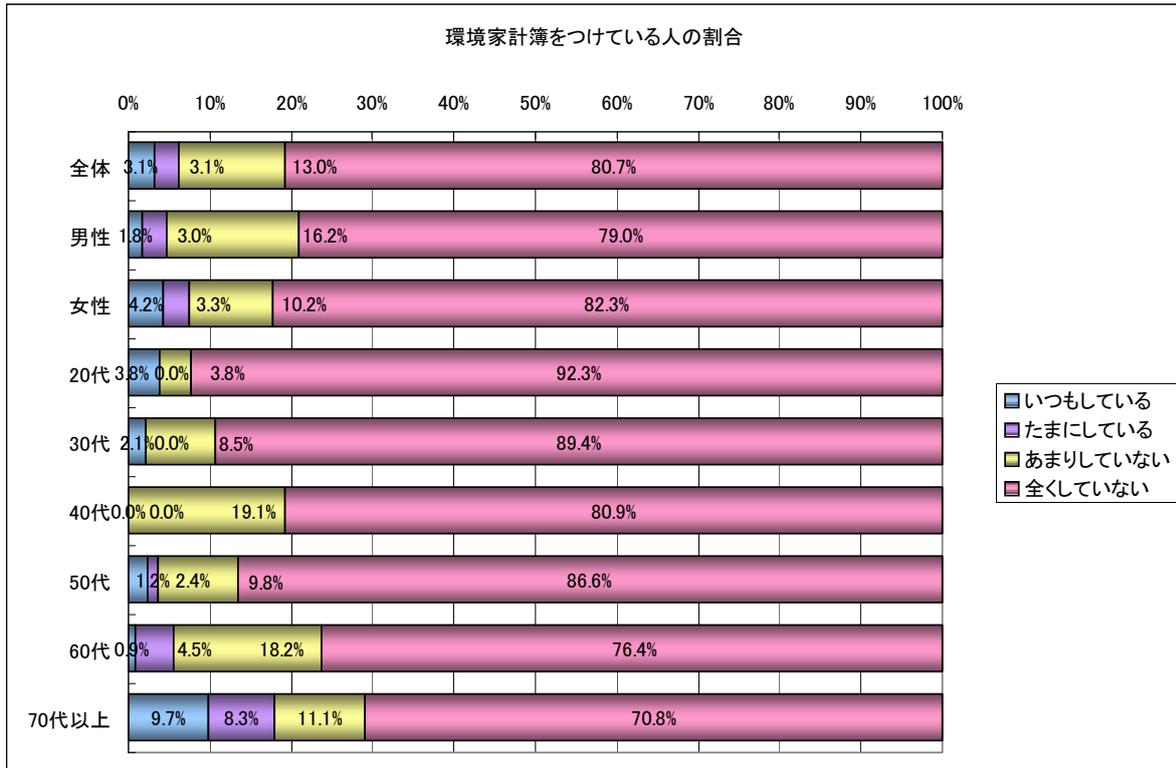
○アイドリングストップをしている人の割合

全体的に半数程度の人がアイドリングストップをしています。



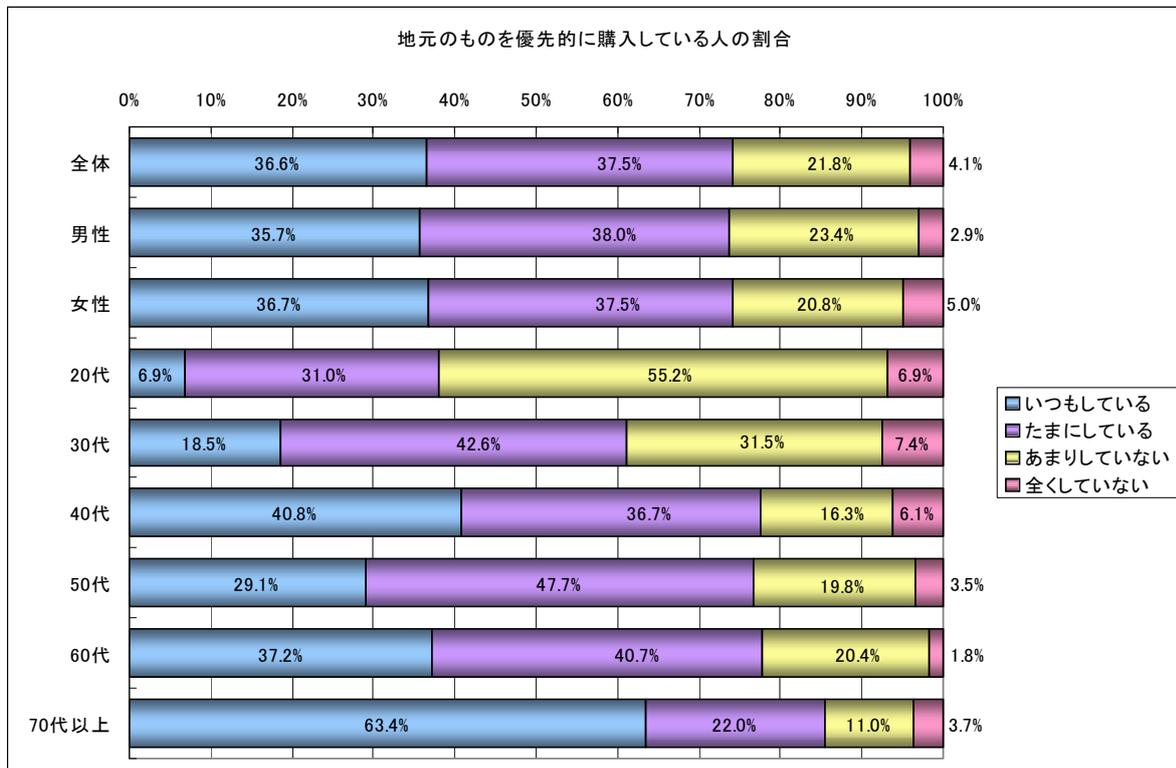
○環境家計簿をつけている人の割合

環境家計簿の普及率はまだ低い状況です。



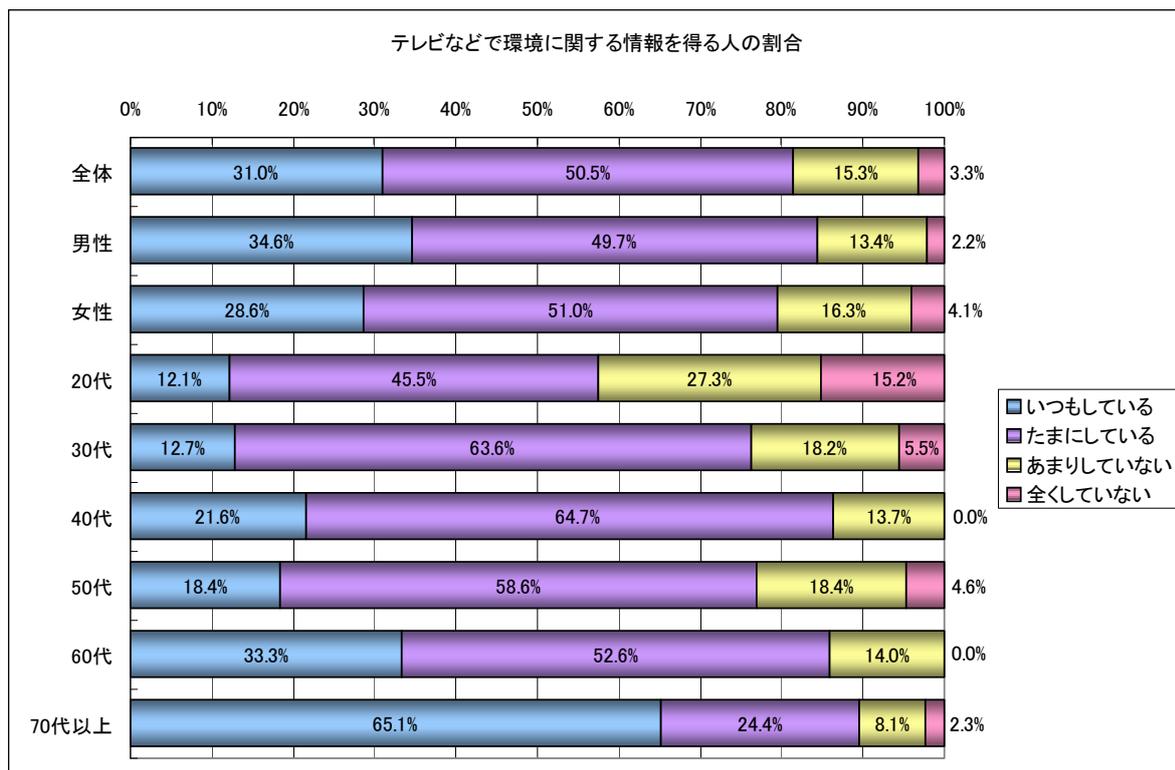
○地元の食材を優先的に購入している人の割合

年齢層が上がる程購入する人の割合が高くなっています。



○テレビや新聞・雑誌等で環境に関する情報を見る

年齢層が上がるにつれて数値も上がっていますが、全体的に環境に関する関心度が高いことが伺えます。

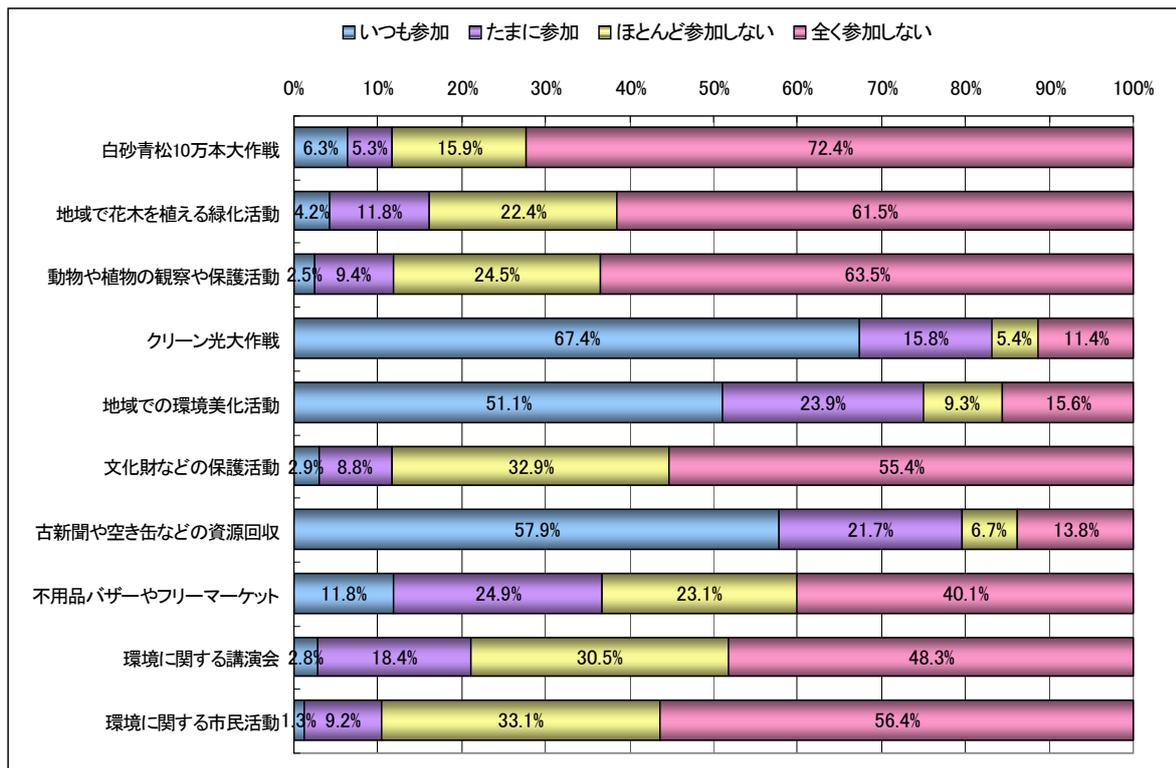


設問5 環境に関する地域及び団体での活動

地域及び団体で行う環境保全活動では、「クリーン光大作戦」、「地域での環境美化活動」、「資源回収」の項目では、「いつも参加している」、「たまに参加している」を合せて75%を超えています。いずれも、活動がすでに浸透している活動や、自治会、子ども会等の活動であり、比較的参加しやすいことが挙げられます。

一方、活動が開始されてまだ日が浅い「白砂青松10万本大作戦」や、地域ではなく団体での活動が主となる活動については、参加する率が低い傾向にあります。

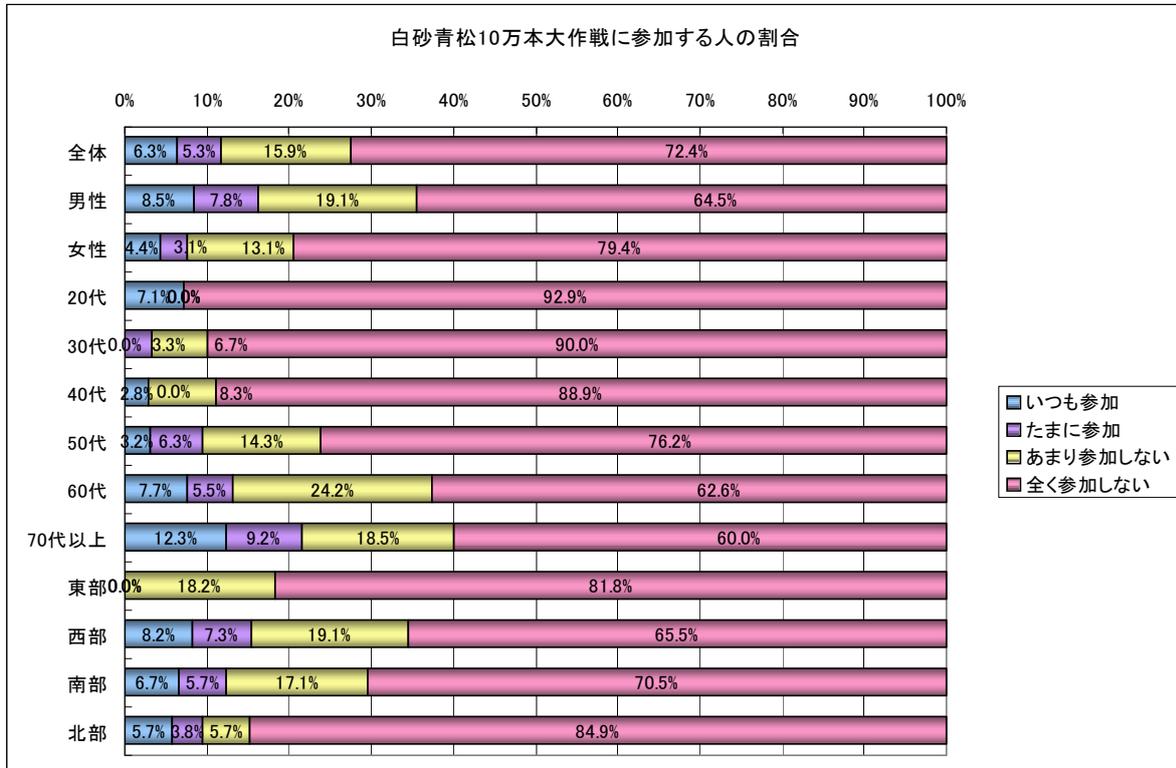
(全体)



～項目別一覧～

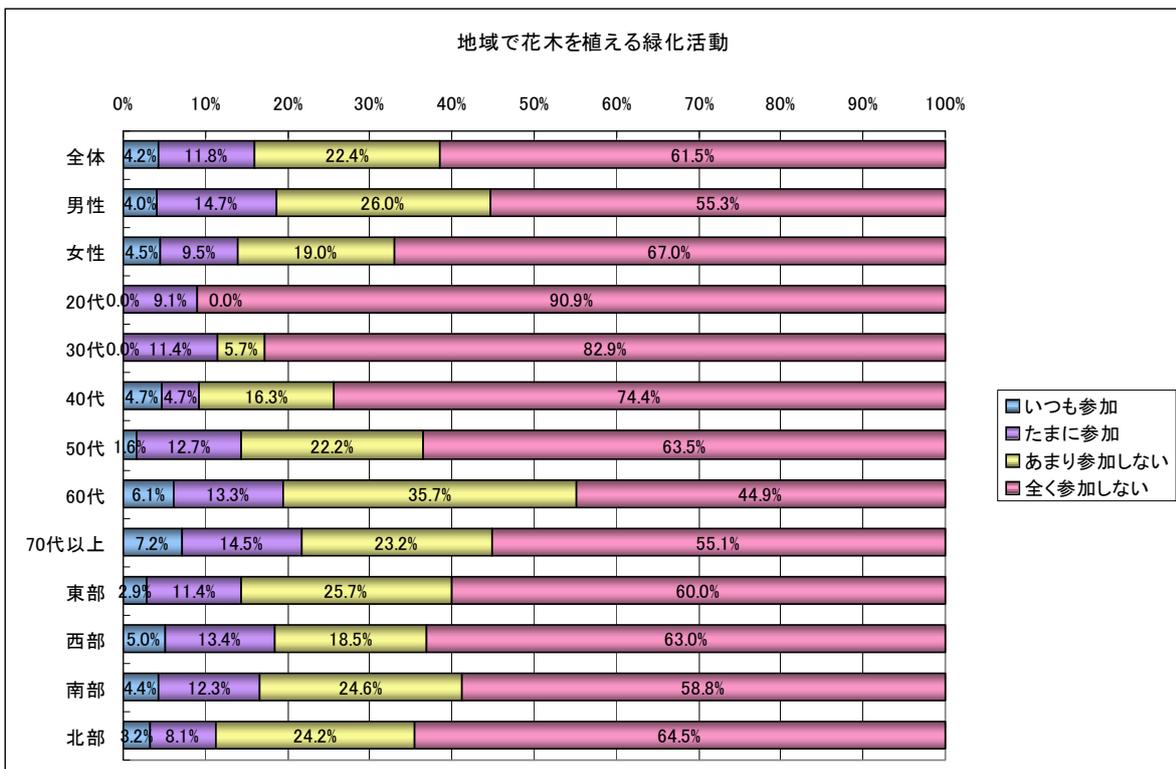
○白砂青松 10 万本大作戦

活動を開始してまだ日が浅いため、浸透度の低さが数値に表れています。



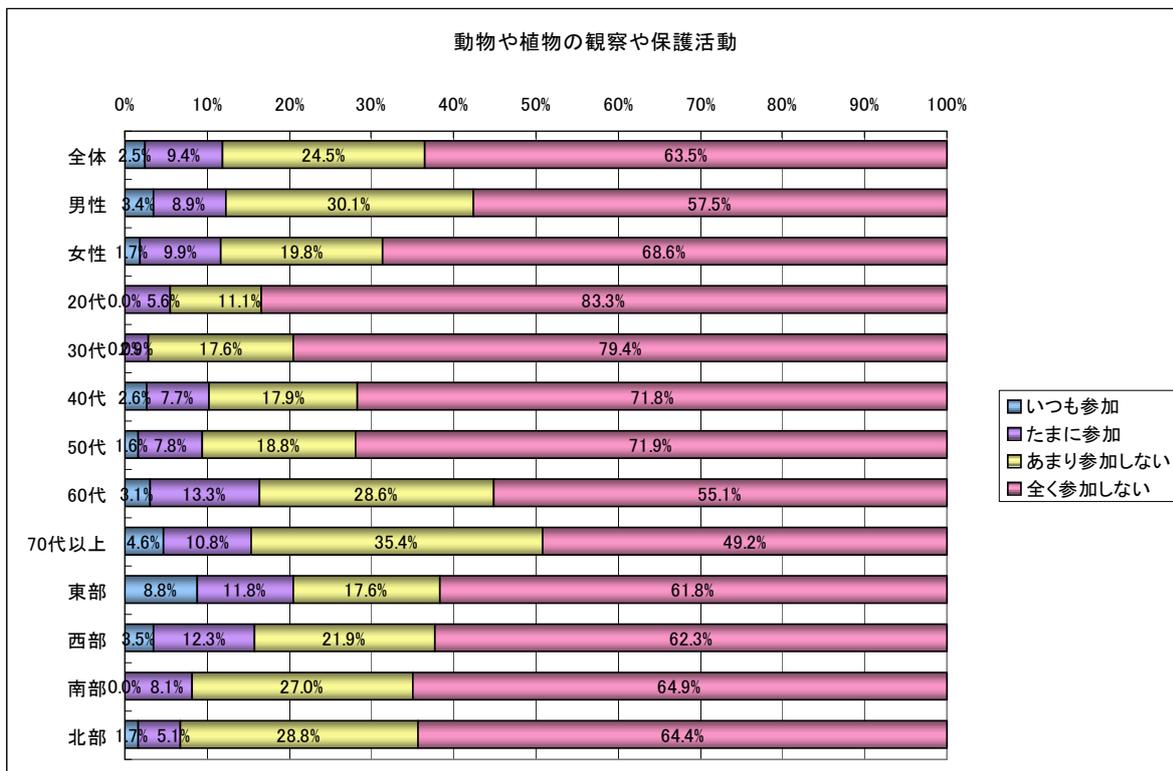
○地域で花木を植える緑化活動

年齢層が上がるにつれて、参加している人の割合が増加しています。



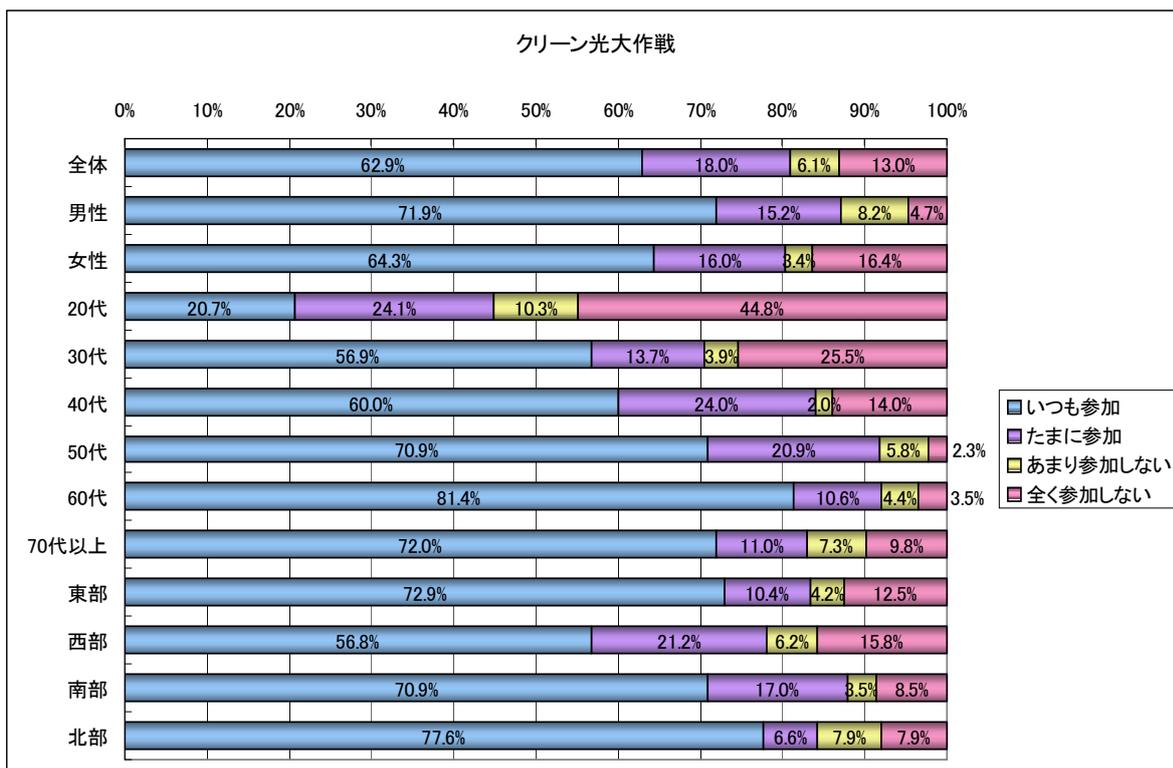
○動物や植物の観察や保護活動

自然保護に関する活動は、他地区に比べ、東部地域の参加割合が高くなっています。



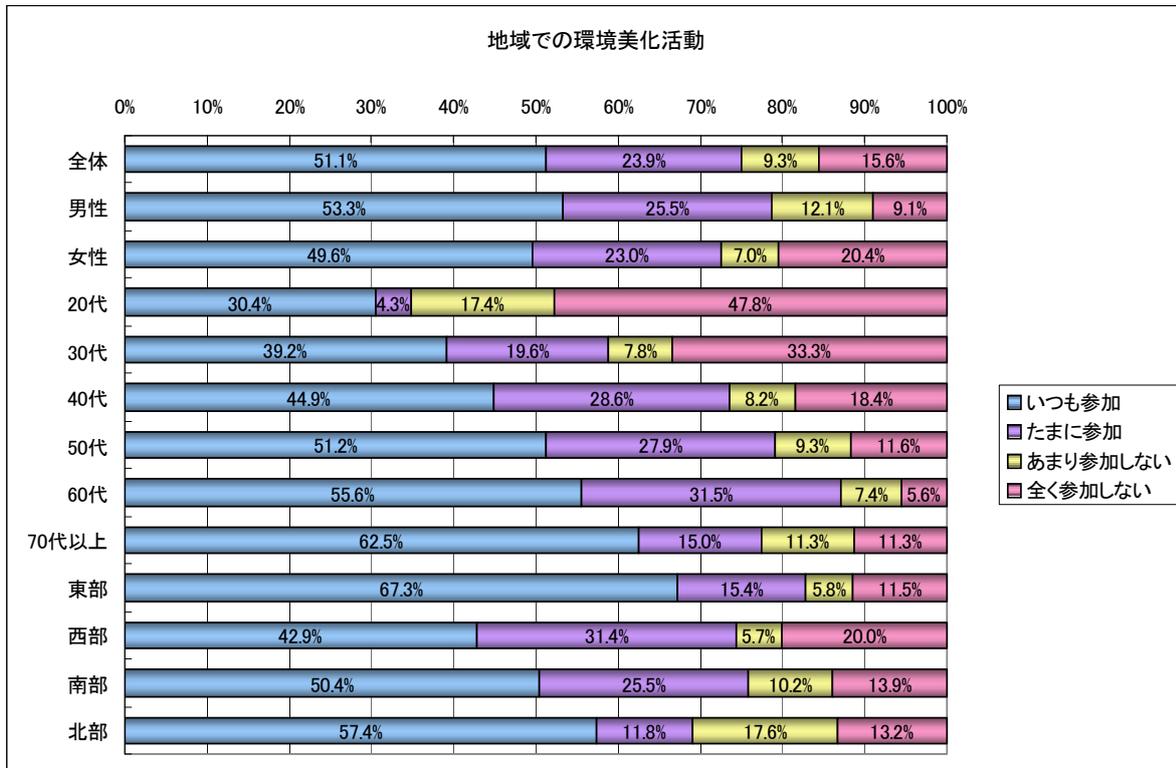
○クリーン光大作战

市民に浸透している活動であるため、総じて参加割合は高いですが、20代においては他の年齢層に比べ、参加率が低くなっています。



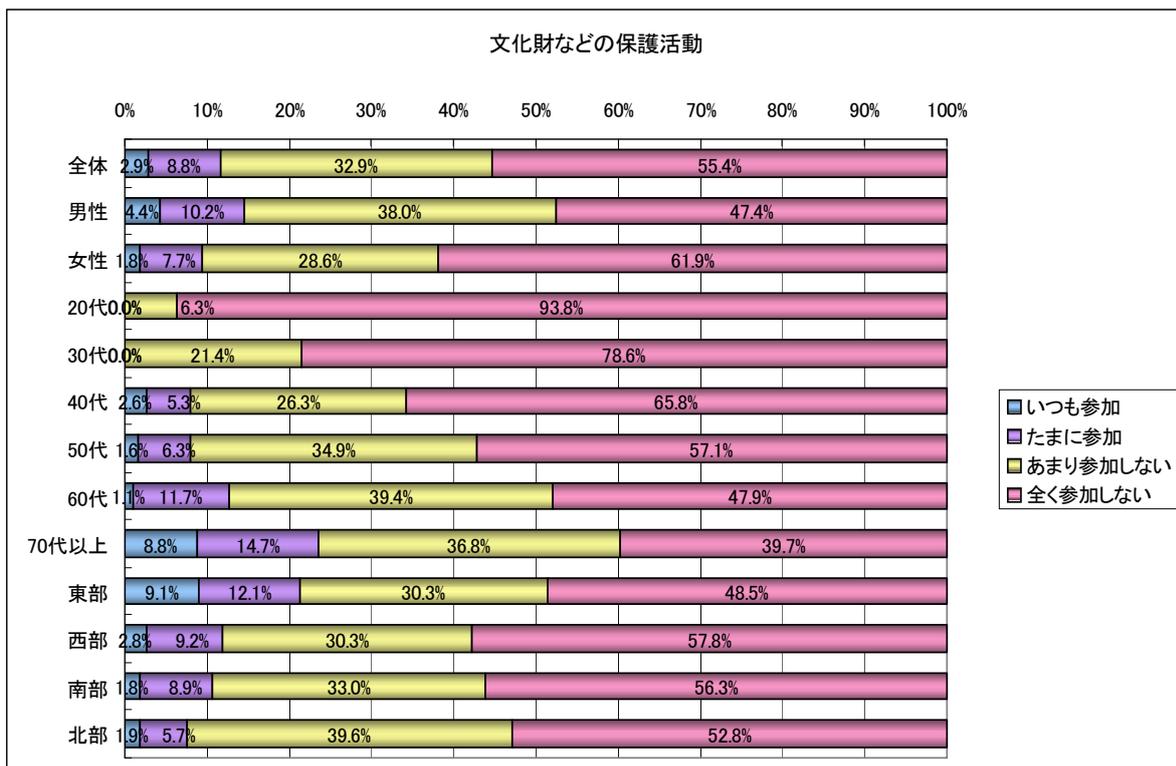
○地域での環境美化活動

年齢層が上がるにつれて参加割合が上昇しています。また、東部地域は他地域に比べ、参加割合が高くなっています。



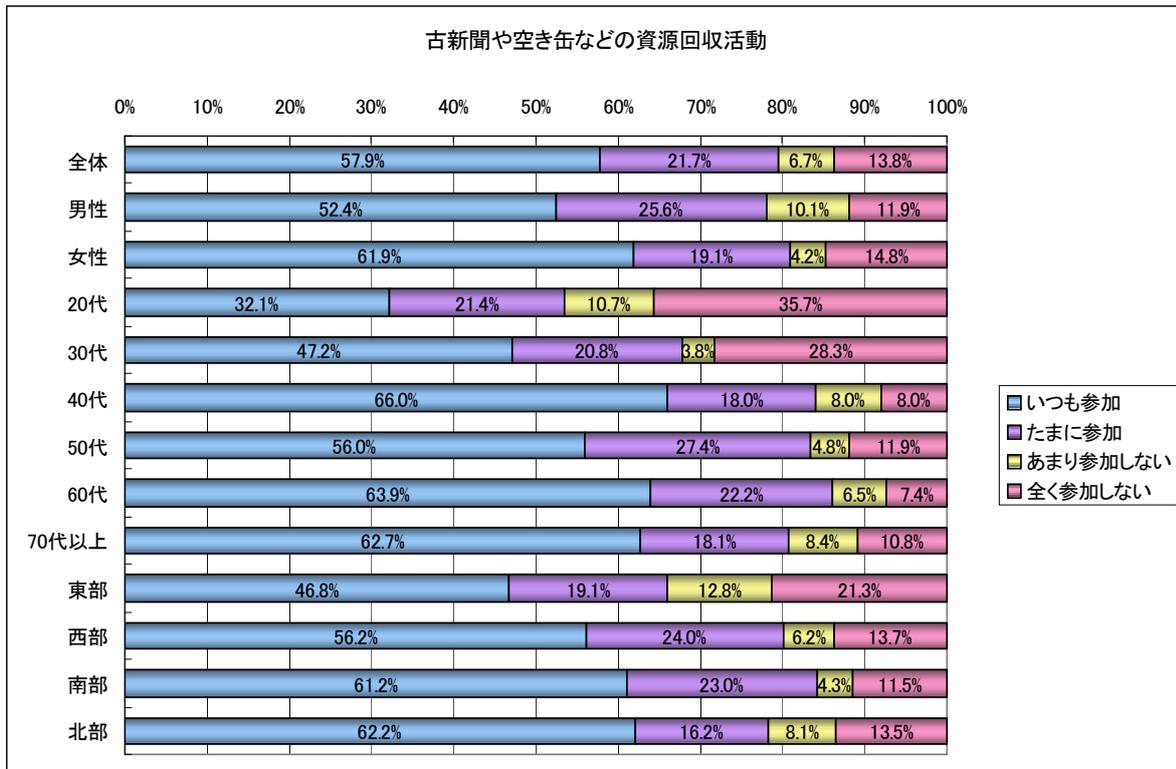
○文化財などの保護活動

20代、30代においては、「いつも」、「たまに」参加する人が0%と、若い世代での参加が今後の課題です。



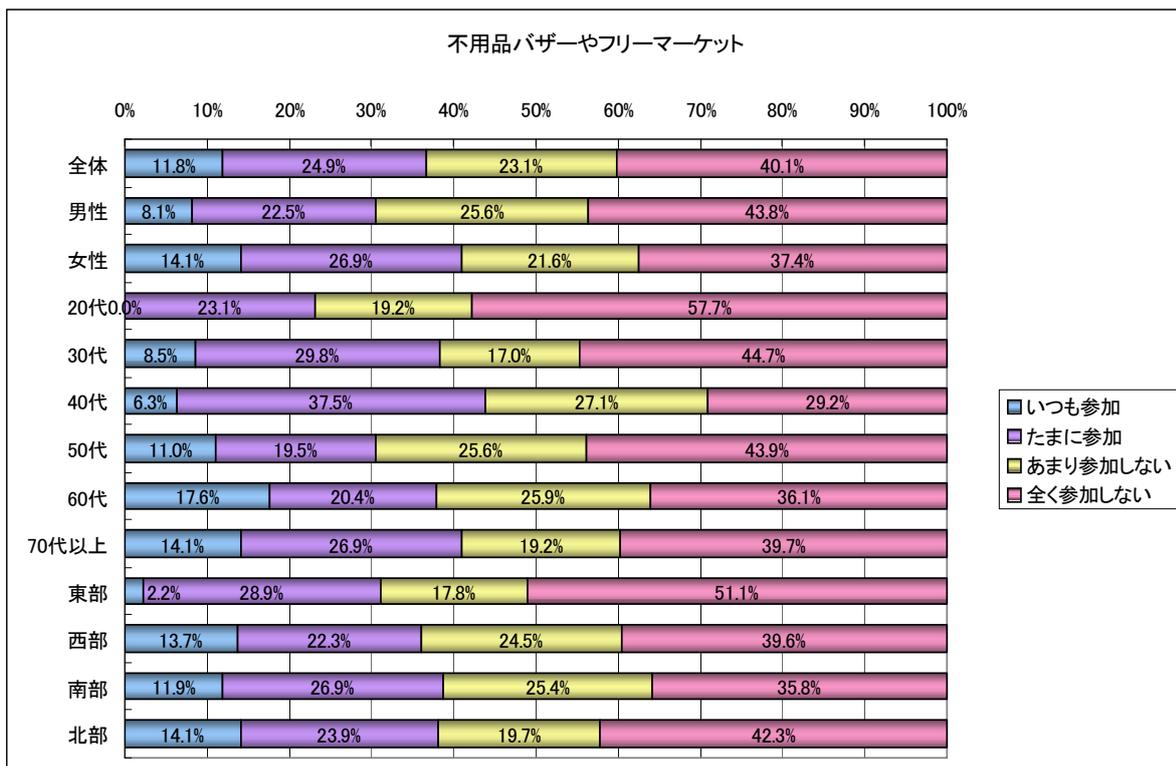
○古新聞や空き缶などの資源回収活動

20代においては参加割合が低いです、概ね参加している人の割合が高い項目です。



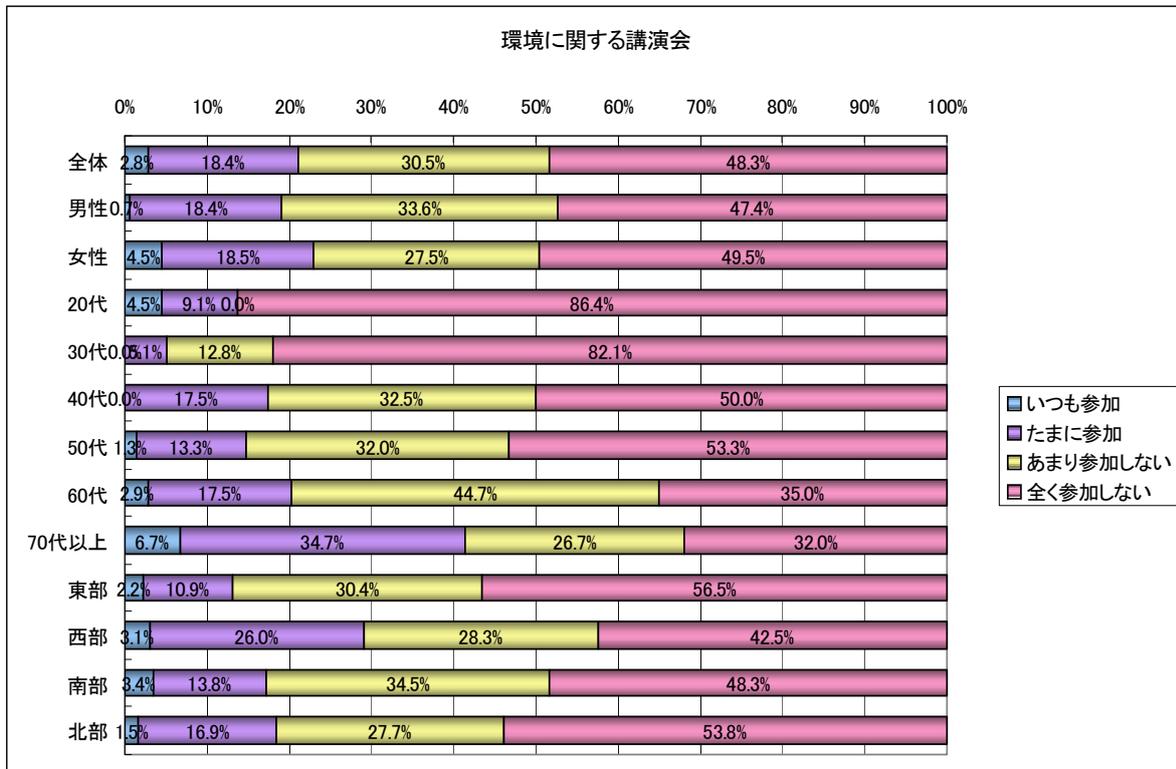
○不用品バザーやフリーマーケット

女性及び子どもが小さい年齢層の参加割合が高くなっています。



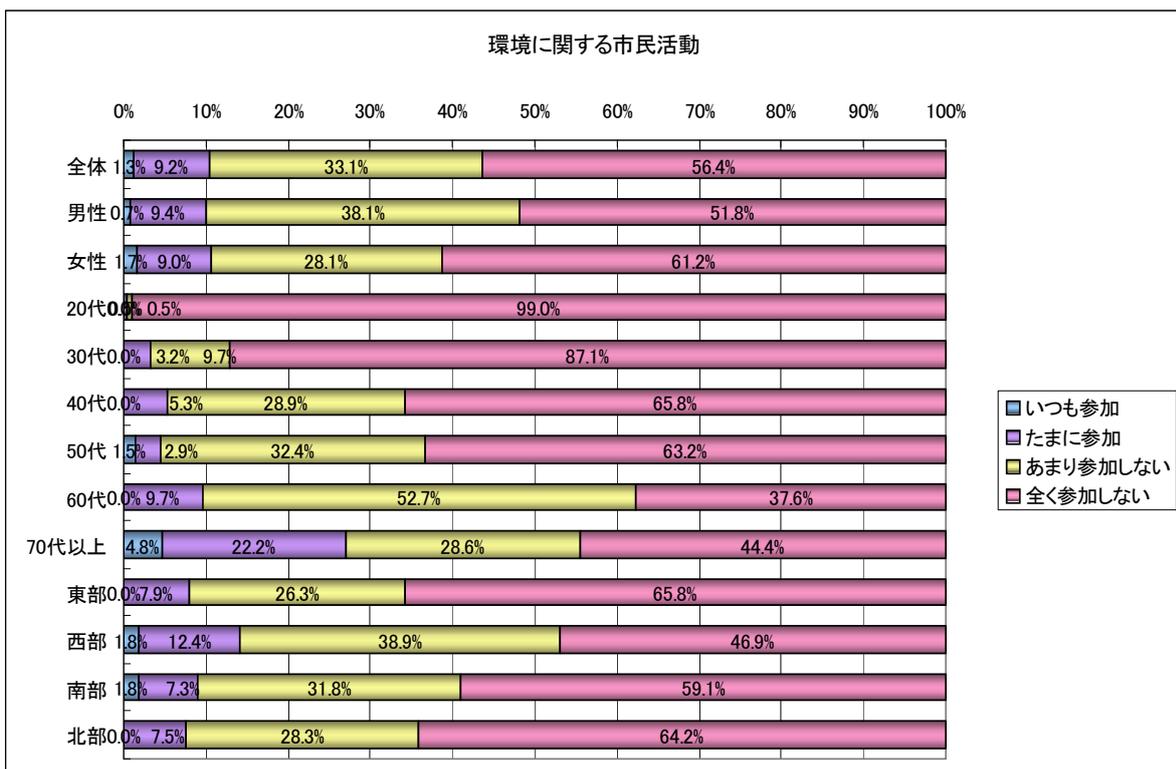
○環境に関する講演会

70代以上の参加割合が他の年齢層に比べて高くなっています。



○環境に関する市民活動

講演会と同じく、70代以上の参加割合が高くなっています。



設問6 市の環境施策について

光市の環境をよくするために、市が力を入れて取り組むべき項目を3つ選択してもらいました。

回答数が最も多かったのは、「ごみのポイ捨てや犬のフン、野焼きなどの指導」であり、設問2での満足度が低く、設問3での重要度が高かった「まちの清潔さ」の項目と、満足度はそれほど低くはなかったものの、重要度が高かった「生活環境の快適さ」と内容が一致し、日常生活する上で身近に感じる生活環境の向上が重要であるとの結果が出ています。

自然環境においても、「室積・虹ヶ浜海岸の保全」は、満足度、重要度共に高く、この設問においても上位に入っており、市民共有の財産として認識されていることが伺えます。

また、省エネや公共交通機関の整備についても上記と同じく、満足度が低く、重要度が高くなっている上、市が取り組むべきことでも上位に位置づけられており、地球環境に対する関心も高いものとなっています。

(全体)

順位	回答数	構成比	項目
1	165	13.3%	ごみのポイ捨て、犬のフン、野焼きなどの指導
2	153	12.4%	ごみの減量やリサイクルの推進
3	135	10.9%	室積・虹ヶ浜海岸の保全
4	100	8.1%	烏田川など河川の保全
5	95	7.7%	騒音、悪臭、水質など公害防止対策
6	78	6.3%	マイカー利用抑制のための公共交通機関の整備
7	77	6.2%	公園などの憩いの空間の創出
8	76	6.1%	省エネ・新エネなどの地球温暖化対策
9	61	4.9%	学校、地域での環境教育の推進
10	52	4.2%	山や森林などの自然の緑の保全
11	37	3.0%	美しい街並み景観の確保
12	36	2.9%	田や畑の保全と整備
13	32	2.6%	自然とふれあう場の創出
14	29	2.3%	神籠石など歴史・文化遺産の保存と活用
15	26	2.1%	輸送エネルギー軽減のための地産地消の啓発・推進
16	25	2.0%	環境に関するボランティアの育成と支援
17	21	1.7%	鳥や魚、植物などの身近な生物の保全
18	20	1.6%	環境に関する情報の提供
19	19	1.5%	緑化の推進
計	1237	100.0%	

(地区別)

項目	東部地区	西部地区	南部地区	北部地区
	回答数	回答数	回答数	回答数
室積・虹ヶ浜海岸の保全	14	50	60	11
島田川など河川の保全	5	34	30	31
山や森林などの自然の緑の保全	6	17	22	7
鳥や魚、植物などの身近な生物の保全	3	8	9	1
自然とふれあう場の創出	4	12	11	5
田や畑の保全と整備	11	5	9	11
騒音、悪臭、水質など公害防止対策	13	30	34	18
ごみのポイ捨て、犬のフン、野焼きなどの指導	17	61	54	33
美しい街並み景観の確保	3	15	14	5
緑化の推進	2	5	12	0
公園などの憩いの空間の創出	8	33	21	15
神籠石など歴史・文化遺産の保存と活用	11	4	10	4
ごみの減量やリサイクルの推進	17	62	50	24
省エネ・新エネなどの地球温暖化対策	20	26	18	12
輸送エネルギー軽減のための地産地消の啓発・推進	5	8	8	5
マイカー利用抑制のための公共交通機関の整備	10	19	27	22
学校、地域での環境教育の推進	5	25	17	14
環境に関するボランティアの育成と支援	0	5	13	7
環境に関する情報の提供	1	10	4	5

地区	順位	1	2	3
東部地区		省エネ・新エネなどの地球温暖化対策	ごみのポイ捨て、犬のフン、野焼きなどの指導	
			ごみの減量やリサイクルの推進	
西部地区		ごみの減量やリサイクルの推進	ごみのポイ捨て、犬のフン、野焼きなどの指導	
			室積・虹ヶ浜海岸の保全	
南部地区		室積・虹ヶ浜海岸の保全	ごみのポイ捨て、犬のフン、野焼きなどの指導	ごみの減量やリサイクルの推進
北部地区		ごみのポイ捨て、犬のフン、野焼きなどの指導	島田川など河川の保全	ごみの減量やリサイクルの推進

(年代別)

項目	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
	回答数	回答数	回答数	回答数	回答数	回答数
室積・虹ヶ浜海岸の保全	9	14	16	30	35	31
島田川など河川の保全	7	11	11	17	32	22
山や森林などの自然の緑の保全	6	7	3	10	18	8
鳥や魚、植物などの身近な生物の保全	3	3	1	3	7	4
自然とふれあう場の創出	3	7	0	6	10	6
田や畑の保全と整備	0	0	4	7	9	16
騒音、悪臭、水質など公害防止対策	4	13	10	22	30	16
ごみのポイ捨て、犬のフン、野焼きなどの指導	12	21	22	30	45	35
美しい街並み景観の確保	6	5	3	11	4	8
緑化の推進	5	2	2	3	4	3
公園などの憩いの空間の創出	11	22	9	15	13	7
神籠石など歴史・文化遺産の保存と活用	1	1	4	6	9	8
ごみの減量やリサイクルの推進	9	18	20	36	45	25
省エネ・新エネなどの地球温暖化対策	8	8	10	13	21	16
輸送エネルギー軽減のための地産地消の啓発・推進	0	5	1	5	8	7
マイカー利用抑制のための公共交通機関の整備	6	9	16	20	16	11
学校、地域での環境教育の推進	6	13	12	11	11	8
環境に関するボランティアの育成と支援	1	4	5	6	6	3
環境に関する情報の提供	0	5	2	4	5	4

※10代は20代に含む

順位 年代	1	2	3
20代	ごみのポイ捨て、犬のフン、野焼きなどの指導	公園などの憩いの空間の創出	室積・虹ヶ浜海岸の保全 ごみの減量やリサイクルの推進
30代	公園などの憩いの空間の創出	ごみのポイ捨て、犬のフン、野焼きなどの指導	ごみの減量やリサイクルの推進
40代	ごみのポイ捨て、犬のフン、野焼きなどの指導	ごみの減量やリサイクルの推進	室積・虹ヶ浜海岸の保全 マイカー利用抑制のための公共交通機関の整備
50代	ごみの減量やリサイクルの推進	室積・虹ヶ浜海岸の保全 ごみのポイ捨て、犬のフン、野焼きなどの指導	
60代	ごみのポイ捨て、犬のフン、野焼きなどの指導 ごみの減量やリサイクルの推進		室積・虹ヶ浜海岸の保全
70代以上	ごみのポイ捨て、犬のフン、野焼きなどの指導	室積・虹ヶ浜海岸の保全	ごみの減量やリサイクルの推進

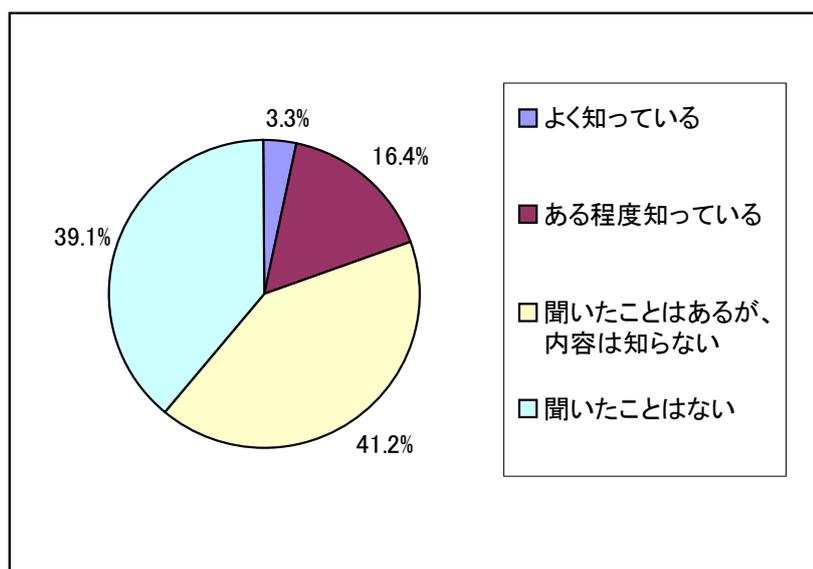
設問7 「自然敬愛都市宣言」の内容を知っていますか

光市は平成18年3月に、全国に先駆けて「自然敬愛都市宣言」を行い、「自然の創造と保全」を基本理念にした「光市自然敬愛基本構想」を策定しました。

今回は、アンケートでその内容の周知度を測るとともに、アンケート末尾に宣言の全文を記載し、改めて市民のみなさんに周知することとしました。

選択項目	男性		女性		総計	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
よく知っている	9	5.1%	5	2.0%	14	3.3%
ある程度知っている	30	17.0%	39	15.9%	69	16.4%
聞いたことはあるが、内容は知らない	77	43.8%	97	39.4%	174	41.2%
聞いたことはない	60	34.1%	105	42.7%	165	39.1%
計	176	100.0%	246	100.0%	422	100.0%

(全体)



設問 8 後世に残したい光市の環境

光市にある自然や風景、文化などで後世に残したいものを1つ挙げてもらいました。

結果は、室積・虹ヶ浜海岸が最も多く、多くの方が光市の大切な財産であると認識しています。また、市民の大切な水源である島田川や、石城山・峨嵋山なども上位に挙がっています。

項目	人数	構成比
白砂青松の室積・虹ヶ浜海岸(砂浜・松林)	188	53.3%
きれいな海	45	12.7%
島田川	29	8.2%
自然(山・森・川・海)	26	7.4%
石城山(神籠石)	15	4.2%
峨嵋山(象鼻ヶ岬)	8	2.3%
クサフグの産卵地	6	1.7%
水質の良い水道	3	0.8%
伊藤公の森(記念館)	3	0.8%
冠山総合公園の梅の木	2	0.6%
光市の「光」	2	0.6%
島田川の桜並木	1	0.3%
寺社仏閣	1	0.3%
山頭火	1	0.3%
鬼彦兵衛の墓	1	0.3%
大峰山や茶臼山から見た象鼻ヶ岬、御手洗湾等光の海	1	0.3%
茶臼山と虎が岳山頂から海を眺める風景	1	0.3%
自然とふれあえる場所	1	0.3%
観光名所	1	0.3%
四季折々の風景	1	0.3%
川	1	0.3%
今積川のホタル	1	0.3%
三井妙見の滝	1	0.3%
美しい田畑	1	0.3%
文化	1	0.3%
公共の場所の美観	1	0.3%
こどもの憩いの場	1	0.3%
光市及び周辺自治体の山・川	1	0.3%
瀬戸内海国立公園として自然と調和できる生活環境	1	0.3%
環境を守り育てる人の心	1	0.3%
コバルトライン	1	0.3%
室積の自然	1	0.3%
美しい駅	1	0.3%
山田の御霊社	1	0.3%
牛島の波止	1	0.3%
光井八海の妙見神社・観音堂	1	0.3%
岡原遺跡	1	0.3%
計	353	

設問9 自由意見

光市の環境についてのご意見等を自由記載形式で回答いただきました。主だった内容を掲載します。

【自然環境分野】

- ・ 島田川の土砂浚渫
- ・ 竹山を雑木林の森へと再生する
- ・ 室積・虹ヶ浜海岸の整備
- ・ 自然敬愛都市宣言の PR
- ・ 山が荒れて人が入ることすらできなくなっている
- ・ 水源である島田川の汚染対策
- ・ 室積海岸の砂が心配
- ・ 自然と人がふれあえる場の創出
- ・ 今ある自然を一人ひとりの自覚と努力で保つこと
- ・ 島田川の土手に桜並木を
- ・ 田や畑が宅地に変わり、身近な自然がどんどん減ってきている
- ・ 室積で獲れる魚が非常に少なくなっている
- ・ 海、山、川一体となったまちづくりを
- ・ 島田川はいいが、大和の川が汚い
- ・ 海岸を保つためには、大変だがクリーン光大作戦の役割は大きい

【生活環境分野】

- ・ 早急に下水道を整備し、水質汚濁の防止をして欲しい
- ・ 子どもたちが遊べる公園を作って欲しい
- ・ ペットに対するしつけがなっておらず、飼い主に対するマナー教育が必要では
- ・ ポイ捨での禁止を徹底して欲しい
- ・ クリーン光大作戦の回数を年3回にする
- ・ 公園にある遊具は壊れていたり古かったりするので、今ある公園の整備をして欲しい
- ・ 歩行者の安全を考えた道路の整備
- ・ 若者向けの公園を作って欲しい
- ・ 工場から立ち上る煙が気になる
- ・ 国道のごみが気になる
- ・ 小河川の清掃を各自治会に義務付けては
- ・ 冠山に子供向けの遊具を設置して欲しい
- ・ 工場からの悪臭が害にならないか心配
- ・ 標語や幟が多すぎる
- ・ 清掃が大変なので、セメント造りの溝蓋をグレーチングにして欲しい
- ・ 島田川附近に駐車場とトイレを設置して欲しい
- ・ ごみの不法投棄をなくす
- ・ まちの清潔さを守るための施策が必要

- ・おっぱい都市宣言を掲げ、市内の産婦人科、小児科も充実しているが、公園の充実さは不足している
- ・スポーツ公園の駐車場のごみが目立つ
- ・野焼きで、農業は例外規定になっているが、民家が近い場合はある程度制約できるようにしてほしい
- ・冠山公園に木陰を作って欲しい
- ・もっと自然環境の整備に注力してほしい
- ・不燃ごみの回収を月 2 回以上にして欲しい
- ・可燃ごみの収集を週 3 回にできないだろうか
- ・瀬戸風線の早期完成を望む

【文化環境分野】

- ・石城山の中腹あたりに「古代石城山歴史博物館」なるものを建設し、市の活性化を
- ・市民の生活、文化に対する意識が非常に低いのでは
- ・難波屋敷周辺や立野小学校跡に看板等を設置し、次世代に歴史を大切にさせるようすべき
- ・神籠石と共に、岡原遺跡も大事に継承していけたらと思う

【地球環境分野】

- ・商店街と連携し、簡易包装に努める
- ・廃油の回収
- ・夜間のライトアップは無駄なエネルギーだと思う
- ・温暖化防止対策に積極的に取り組んで欲しい
- ・温暖化防止のために、多少不便な生活をみんなが当たり前と思うようにしなければいけない
- ・公共交通機関をもっと利用しやすくしてほしい
- ・緑化を推進する
- ・市民全員が買い物袋を持参するようにしてほしい

【その他】

- ・学校、地域での環境教育に力を注いで欲しい
- ・アンケートを見て、環境の大切さを知った
- ・環境維持の大切さを教育の場面で実践できる人の育成を
- ・子どもたちに定期的に海や歩道の掃除をさせることにより、環境に対する意識付けをして欲しい

